京城日報

日露協約の報と支那
政府痛く刺戟せらる＝南北妥協速進の資とせん

支那政府は駐日公使の報告に依り日露協約成立の報に接し深く刺戟せられたり新聞紙は日露協約は東亞の大局に甚大なる影響を及ぼし之より日本は自由手段を振ふに至るべしと憂慮し此際國內互に相爭ふが如きは支那の前途を危くするものなりと論じ南北妥協速進の資に供せり（北京特電）

陳四川將軍の使節
蔡鍔に面謁＝使命秘密

四川將軍陳宦の交涉使節は八日永寧に到り南軍總司令官蔡鍔に面謁せり該使節の齎せる使命は秘密なるも大總統退職の問題は北京に在る各黨派の協議を待つ可しとの條件なりと信ぜらる陳宦は交涉の前途有望なるを信じ居れる者の如し（北京特電）

獨逸海軍一決戰か

伯林よりの報道に據れば獨逸海相カペル提督は獨逸海軍が遠からず決戰的行動に出づべき旨を洩せりと（紐育電報）

擊沈責任拒絕

紐育來電に曰く諸新聞紙の報ずる所に據れば獨逸政府は英船サセックス號擊沈に關する責任を拒絕せりと（倫敦電報）

巴運河開通期

巴奈馬運河の修理工事竣成し十五日より開通する事となり我海運界貿易上に及ぼす好影響鮮からざるべし（東京電報）

四鄭公債募集超過

四平街鄭家屯間鐵道借款公債五百萬圓募集は十日を以て締切りたり其結果三十萬圓の應募超過を見たり（東京電報）

鐵道特約運賃廢止

鐵道院にては特約運賃制を廢止する事に決定せりと（東京電報）

大隈首相訓示

大隈首相は十二日軌制調査會に臨み一場の訓示をなせり（東京電報）

一木內相渡臺
赤愛幹事記者團等同船

一木內相花房赤十字社長山縣小笠原愛國婦人會幹事及び新聞雜誌記者團等多數十二日門司寄港の郵船備後丸にて渡臺せり尙ほ一木內相は十二日下關春帆樓に於ける福岡山口兩縣官公吏歡迎會に臨む（門司特電）

露國大使送別

大隈首相は十五日駐日露國大使マレイツイツチ氏の送別會を催ふすべし（東京電報）

河野檢査官一行

會計檢査院第一部第一課長檢査官河野秀男氏及び二名の一行は十二日午前連絡船高麗丸にて著釜同十時三十分發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

總督總監奉伺

寺內總督並に山縣政務總監は十一日皇后陛下京都より還啓あらせられたるに對し謹で御機嫌を伺ひ奉る旨宮內大臣に宛て執奏方電稟せり

王公族の奉伺

皇后陛下還啓在らせられたるに付李王殿下及び李堈公李埈公殿下には十二日午後御名代を總督府に差遣はし御機嫌奉伺の執奏方手續を寺內總督に依頼ありたり

警務會同（第二日）

憲兵隊長警務部長會議第二日は十二日午前九時より總督府第二會議室に開催、寺內總督政務總監以下關係各部長官局長等出席し諮問事項の答申正午休憩の上午後一時より前日の如く憲兵隊司令部會議室に再開各道隊部長より意見質疑希望事項の申述ありて午後三時散會せり

神宮獻木の注意

明治神宮境內に樹木を進獻せむが爲め朝鮮內各地の箇人、團體及び學校等より各地方廳を經て明治神宮造營局長に宛願出たる者多數あり而して其願意採否に關しては未だ何分の通知なき由なるも願意採用せられたる後に於ける獻木の取扱方及び輸送方等に關しては大體の注意事項を指示せられある筈に付該事項に依り取扱ふ可きに拘らず獻木者にして明治神宮境內迄で搬入のことに取扱はず或は潮留、新宿、澁谷驛渡しとし又は荷造完全ならざるもの往々あるが爲め取扱上支障尠からず殊に臣民の誠意に成れる折角の獻木も是等取扱上の相違より枯死、損傷等を生ぜしむるが如きことありては誠に遺憾に付き進獻木搬入上特に左記事項に注意せしめられたき旨其筋に通報ありたるに依り各獻木者に於ても充分注意ある可く尙ほ當局に於ては鐵道及び朝鮮郵船株式會社等に對し取扱上協定する筈なり

注意事項

一、進獻樹木を汽車便を以て送附せむとするときは可成一貨車以上に取纏め貸切扱とし明治神宮境內線迄引込線を利用し、明治神宮造營局工事務所宛發送す可きこと

一、一貨車に滿たざる獻木を送附せむとする時は運送店取扱にて到着驛を必らず新宿澁谷驛とし同驛より境內工事務所迄の運搬費は獻木者に於て仕拂濟の上明治神宮造營局工事務所へ搬入す可き事

但し前記到着驛より境內工事務所迄の運搬費は大略客年の一月二十八日明第一一五號を以て通牒し置きたる明治神宮境內進獻樹木取扱注意事項末項の通り要する見込

一、到着獻木の內往々損傷のものあるを以て搬取荷造に際しては充分なる餘裕を存し又一貨車以上に渉るものにして無蓋車を要する時はトロの三枚側總開き車輛とし損傷を生ぜざる樣萬全なる注意の下に積み崩れざる樣可成時に積み附け出す可きこと

各地府協議員

道長官より推薦中なりし各地の府協議員は當局の詮考を經總督の決裁を得て此程何れも決定任命を見たり今回は各府とも概ね再任にして新任者は數名に過ぎず其新任者並に定員數は左の如し

府	新任者氏名	再任者名	定員數
京城府	白完爀、閔裕植	十名	十六人
仁川府		八名	十人
群山府	[illegible]、樋口虎三	四名	六人
木浦府	金兼鶴	七名	八人
釜山府	志賀五百枝	十名	十二人
馬山府		六名	八人
平壤府	朴鳳輔	八名	十二人
鎭南浦		七名	八人
新義州		五名	六人
元山府	木養瑜	六名	十人
淸津府		六名	六人

因に右表中新任者と再任者數を合し定員數に達せざるものは前任期中の補缺者を含む故なり

十二日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓 ▲指定は一行金貳拾錢增 ▲三號活字は二行同樣 ▲六號活字の一行は五號活字の一行に同じ

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 樋口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局 營業局 工場

新聯隊旗七旒
十八日宮中にて親授

新設師團の第二十師團に屬すべき第四十旅團第七十九、第八十兩箇聯隊は既に交替を終りしより特に旗手東上親授を受け來る事既報の如くなるが山下、鈴木兩少尉は各部下士四名を引連れ十二日出發東上せり第三十七第三十九兩箇旅團に屬すべき第七十三、第七十四、第七十七、第七十八の四箇聯隊及び騎兵聯隊に對しては同部隊が未だ交替前なる爲め渡鮮以前に於て共に第七十九、第八十の兩箇聯隊旗手と共に十六日午前十時迄に陸軍省に出頭し諸般の心得事項を了したる上十八日宮中にて親授式擧行の筈なり

師團歡迎準備

新設第十九師團の龍山著期は未定なれども龍山の有志は大々的歡迎を爲す計畫あり十一日京城府に會合其打合を爲したるが更に十二日午後三時より京城府龍山出張所に於て歡迎委員會を開きたり

山東苦力輸送
朝鮮橫斷連絡經由

浦鹽を中心とする沿海州乃至東淸鐵道沿線に於ける勞働者の殆んど總てが支那苦力にて舊曆正月前に引返し鄕里にて越年の上春暖と共に更に勞働地に向ふ事は例年の事にして從來彼等の輸送は總て芝罘乃至靑島より海路浦鹽へ直航しゐたるを京元線開通以來陸路を利用せしむる事となり一兩年前より芝罘より仁川に上陸せしめ京仁、京元兩線にて元山へ送り元山より朝鮮郵船會社船にて浦鹽へ輸送の契約成りたる事當時既報の如くなるが本年度に於ける第一回輸送として芝罘華裕洋行扱ひにて三百卅名十一日朝仁川發元山に向へり

鐵道測量隊出發

元山高城里間七十二哩の測量の爲め鐵道局技師永田光之助氏は一行六七名の測量隊を率ゐ十三日龍山出發元山へ向ふ筈なるが五月上旬終了歸龍の筈

立花師團長歸期

目下東上滯在中なる立花第十九師團長より此程古海警務總長宛來る二十日午前八時五十分京城著の豫定の旨電報ありたり

松永京畿道長官

道長官會議に出席中なりし松永京畿道長官は十二日午前九時十分南大門發平壤に向ひたるが家族同伴の上十八日歸任し永樂町の官舍に入るべしと

平井支那鐵道顧問

支那政府鐵道顧問工學博士平井晴二郎氏は十三日東京出發歸任の途次十六日朝京城通過北京直行の筈

河野會計檢査官

會計檢査院第一課長會計檢査官河野秀男氏は十二日朝釜山上陸、同夜入京の筈

工藤調理課長渡臺

土地調査局事務官工藤壯平氏は臺灣に於ける土地調査後の成績並に取扱事務の狀況取調べの爲十二日臺灣出張を命ぜられたるが都合によりて十七日若くば十九日頃出發すべく滯在期は二週間內外なりと

支那領事代理

在仁川支那領事張鴻氏は一時歸國に付き在京城同國領事館副領事黃宗麟氏其事務を執ることゝなれり

吉野博士動靜

吉野法學博士は十一日午後二時より各官公私立學校の視察を爲したるが更らに十二日午前九時より山本牧師と同道昌德宮を拜觀し正午阿部本社長主催の午餐會に出席し其より午後二時高等普通學校を視察し四時半より吾社主催の講演會に出席し「戰前に於ける歐洲」なる題下に約二時間に渉り講話し當夜午後七時五十分南大門發の列車にて神戶に直行すべしと

高博士重石礦視察

過般入京したる九州工科大學教授工學博士高壯吉氏は目下天眞樓に滯在中なるが不日忠南靑陽郡重石鑛山を視察すべしと

牧山氏出發期

牧山耕藏氏は目下開催中の臺灣共進會に列席す可く十三日朝京城出發門司より笠戶丸に搭乘し渡臺歸京は本月末日なる可し

朝郵配當七朱

朝鮮郵船會社の大正四年度後半期決算は既に終了して愈々來る十五日の取締役會議に附し即日監査役の監査を受け決定せし上直ちに株主に通知し廿九日株主總會を本社樓上に開くべしとの事なるが配當率は前期同樣年七朱なりと

植民專門校始業

東洋協會植民專門學校京城分校の今期新入生二十五名は十一日登校より著京校內寄宿舍に入舍せり、十三日始業式を擧げ直ちに授業開始の筈なり

研究會討論會

永樂町研究會にては十三日午後七時より左記問題に就き討論會を開く

討論問題 甲あり自用の時計一個を乙に賣渡し即日代金を受取り時計の所有權移轉及び引渡の時期を一ヶ月後と約し依然之を所持し居たり、然るに丙は賣買の契約ある事情を知りながら甲に暴行を加へて該時計を奪取し且つ之を毀棄したり、知らず丙は乙に對し損害賠償の責を負ふや

島田氏講演

加州ロスアンゼルス日本人學園長島田好平氏は一日前入京十一日は總督府學務局員の案內にて京城內各學校を視察し十二日は蠶島に於ける農事教育の狀況を視察したるが十三日は午後四時より京城女學校內に於て米國の教育狀態に就き講演を試むる筈傍聽隨意なりと

●武術大會豫行演習 來る十六日午後一時より憲兵隊司令部構內道場に於て開催すべき全鮮憲兵警察官武術大會に於ける各劍士番組作製の爲め來る十五日同道場に於て豫行演習を行ふ由

●總監部講演會休會 十二日午前八時開催すべかりし憲兵隊警務總監部第六回講演會は目下隊部長會議開催中なるを以て休會したり

木浦

▲客月金融 當地棉花の買入所の客秋以來本月末迄の買付實棉の斤量は實に千百萬斤の巨額に上ぼり之を昨年同月末の買入額に比較すれば四百五十萬斤の增加を示せり以て昨年內棉花の豐況を推知するを得べし而して是等買入棉花の大部分は客月末を以て略繰上げ終了したる其內約四十萬斤は運棉內地荷揚の關係により當月に持越されたる爲め船便每に繰棉に對する爲替資金の需用尙相應にありしも已に終期に入りたることゝて放出資金は月末には其大部分を回收せられたり米價は春來漸落の一途にありしが上旬更に十圓三十錢と云ふ安値を唱ふるに至り移出は杜絕の姿となり在來は一般見送りの商情となりたるも月央四十錢方引返しに勢ひ倉圍ひせられ一時は弗々倉出せられ聊か生氣付き團米は註文相應に入り込み一時船腹不足をさへ訴ふるに至り多少の資金の需要を喚起せしも下旬再び軟調に返りて以來荷動き亦見るべきもの無く出廻り薄と相俟って米穀資金の需要は減退するに至れり牛皮は軍需品の注文により京城方面に取引せられしもの約七割を占め內地移出亦可成に行はれ甘海苔は時恰かも出盛り時季に不拘當年は稀有の不出來と內地市價の底弱きとにより取引振はず輸移入界亦引續き實行不振にて金融は概して閑散裡に越月せり（鮮銀出張所調）

光州

▲徵兵檢査成績 七八兩日光州に於て執行したる徵兵檢査は受檢人員百二十名なりしが其結果は甲種合格四十四人第一乙種十八人第二乙種十九人丙種三十六人丁種三人にして合格八十一人不合格三十九人を出したるが昨年の受檢人員百三十一人內合格百六人不合格二十五人に比較して非常の不成績なり▲前長官送別會 工藤前長官は道長官會議終了後十二三日頃家族取纏めの爲め來光するを期として當地官民有志相諮り盛大なる送別會を開くべく目下準備中なり▲本道劍士出發 總監部構內にて催さる全道武術大會に本道より出京參加すべき劍士は中村安美（光州署）三浦武次（憲兵隊本部）太田正七（木浦署）上野秀次郎（長興分隊）の四氏にして何れも十三日打揃ふて出發すべしと▲各面に衞生消防組 光州署に於ては今回光州郡內の各面に衞生組合及び消防組を設置せしめんと先般來各面長及び有志者に對し協議中の處何れも其必要を認め一齊に創立に著手するに至れり▲岡山縣人會 在光岡山縣人會は九日西村樓に於て春季總會を開催せしが出席者三十五名非常の盛況を呈せり

釜山

▲組合協議會 十日釜山學校組合協議會を府廳樓上に於て開會後の釜山に於ける重大問題たる組合教育事業の擴張及び公立傳染病院の移轉の件等を附議し大體に於て原案通り決定し尙若松府尹管理者として其任に當る事となり十一日午後一時より府廳樓上に府協議員の相談會を開けり▲朝鮮水產組合豫算 朝鮮水產組合大正五年度豫算は同組合總代會の決議を經て其筋の認可申請中の處十日附を以て些の修正もなく認可されたりと▲海藻組合役員會 十一日午後三時より海港內俱樂部樓上に於て海藻組合役員會を開き理事幹事評議員の更選を爲し定款其他に就き議する所ありたり▲吉野博士の講演 帝國大學教授法學博士吉野作造氏は釜山有志の希望により歸途立寄りて十三日午後五時より寶水町基督教靑年會館に於て一場の講演を爲す可しと

大邱

▲乾繭法改良獎勵 慶北道は全鮮に於ける繭主產地にして乾繭法の忽緖に附す可らざるを以て從來稚蠶共同飼育所在地等に乾繭の設備をなし是が改良獎勵をなし大に見る可きものありしが本年は又政務總監の通牒に基き更に乾繭の統一をなし移出繭の改良をなすべく極力獎勵する方針なりと▲府協議會と組合會 大邱府協議會は十三日大邱學校組合會議は十五日孰れも開會する事に決せり▲邱南學校組合豫算 慶北達城郡邱南學校組合五年度豫算は歲入出九百五十六圓戶數二十九に對する組合費戶別割二百四十圓一戶平均賦課額六圓十五錢三厘強

天安

▲大神宮の春祭 忠南天安南山公園の大神宮は來る四月二十五日春祭を擧行せんとて岡氏子總代及び町內有志者等會合を重ね餘興として花角力手踊浪花節等の催しを爲さんとて目下其準備中而して一新樓一樂亭の藝妓連等は祭典の手踊に妙劇を加へ觀客の晴の宿替をさせんとて目下其稽古眞最中なり尙ほ一新樓主金宮氏は大神宮祭典へ神力正念三斗を寄附せり▲在鄉軍人會 天安在鄉軍人分會にては神武天皇祭日に分會員三十餘名集會し竹下分會長指導の許に記念植樹として桐木百本黑松五千本を植付けたり又同分會にては來る三十日招魂祭を擧行し續て春季總會並に射擊會を施行する筈▲竹下分隊長の植林獎勵 竹下分隊長は著任以來內鮮人に對し植林の獎勵に努め來りたるが一昨年春氏が自ら育成せし柳苗を自費を以て人夫を雇ひ天安より小井里街道上南山公園附近一帶の國道兩側に植樹せり▲郵便局と鮮語 柴田郵便局長は局員に鮮語の必要ありとし每夜諺文にて問題を出し會話の教授を爲しつゝあり

芙江驛より　日新生

▲淸州、芙江間の自動車は鳥致院間と同樣、京釜線の列車とも連絡せば、また忠州行きの自動車にも通じ車體の如きは甚だ立派なるに拘らず、淸鳥間に比して乘客の尠なきは未だ此線を知らぬ者が多いからと存じ候▲忠北の地はタングステンの外諸種の鑛物に富み金、鐵、黑鉛等近來各地に發見せられ、金の如きは現に稼行しつゝあるもの尠からず、沿道にても處々に砂金を掘り取りたる跡あり、本道が鑛產物を以て鳴るの日は遠からざるを存じ候御天道樣が公平ならば海の幸なき處は山の寶多きを當然なる可く候▲芙江に著いて驛の待合に入れば肥滿の紳士を取り捲いた八九名の一團あり、重石地視察の歸路にて此紳士は資本家なる可く、プラットフォームに入つた後も御供の面々は附近の山々を指して頻りに礦の分布を語り居り候▲淸州でも忠州でも歸途には時々此種の一行を見受け申候、カラ騷ぎの時期は去つて資本時代に入らむとする同地の鑛業に對し小生は滿腔の誠意を以て前途の幸を祈り乍ら午後五時四十分車中の人と相成り申候頓首（五日）

忠州

▲忠州郡財務主任正村書記は沃川郡財務主任を命ぜられ不日出發赴任する筈なるがその後任として堤川郡財務主任尾西書記來任すべし▲靑木郡書記は丹陽郡財務主任を命ぜらる▲憲兵分隊司法主任星伍長は淸州憲兵隊本部附を命ぜられ七日任地へ向つて出發後任川上伍長は十日著任の筈▲專賣課忠州出張所にては來る二十二日獎勵金授與式を擧行すべしと

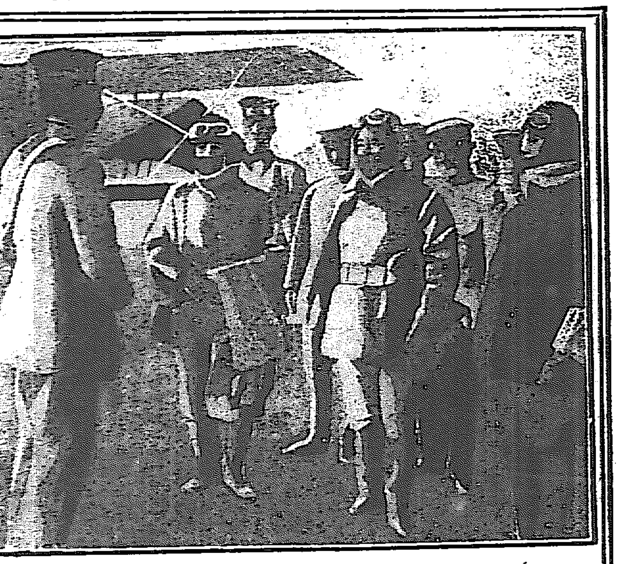
平壤

▲新道長官の消息 新任工藤道長官は本月十二日京城より赴任地に向ひ十八九日頃正式に當地に赴任すべく舊任松永長官は十二日午後三時著の列車にて來壤し同日開催の官民送別會に出席すべしと▲中學入學式 平壤中學校は從來京城中學校の分校なりし處今回總督府平壤中學校として獨立したるを以て新任木校長は本月六日著任し八日午後一時より一年生百名の入學式を擧行せり校長の勅語捧讀訓話ありて式を終りたるが當日は在壤高等官及び學事關係職員其他名譽職生徒父兄等數十名の參列ありたり▲教員檢定試驗 平安南道廳に於ては五月七日八九日の三日間道內私立學校教員に對し教員試驗檢定を行ふ由なるが試驗の及第者は引續學校の教員たるを得るは勿論普通學校の訓導又は副訓導たることを得べしと▲瑤浦式改良草鞋 平安南道中和郡瑤浦所在中和普通學校長尾關房之助氏は豫て朝鮮草鞋の改良を企て已に一年餘の研究を積みたるが近時同校生徒をして自作自給の觀念を養成する目的を以て修學の餘暇之を製作せしめて使用せしめたるが同校生徒各父兄も大に喜び瑤浦式草鞋と命名し近來同地方一帶に此れを使用するに至れり同草鞋は舊來の日本式と朝鮮式とを折衷したる者にして遠足用庭履用の二種あるが同地駐在巡査も又此擧を贊し部內人民に草鞋楔を作し製作を獎勵し專ら勤儉貯蓄の美風を養ひをれり

人事消息

▲吉野作造氏（法學博士）十二日午後七時五十分南大門發神戶へ
▲[illegible]地方法院檢事 病氣の處快癒十一日より登廳
▲佐々木藤太郎氏（慶南道長官）十四日朝出發歸南
▲趙羲聞氏（黃海道長官）十四日[illegible]歸任の筈
▲松永武吉氏（京畿道長官）十二日朝平壤へ
▲工藤英一氏（平南道長官）十二日午前光州へ
▲アルチ氏（米國陸軍少佐）十二日午前入京朝鮮ホテルへ
▲中村與資平氏（建築技師）十二日出發約三週間の豫定にて內地へ旅行
▲川村中尉（龍仁憲兵分隊長）十一日午後入京
▲李軫鎬氏（全北道長官）十二日朝八時五十分發にて仁川へ出張
▲岩崎信平氏（黃州警察署長）十一日歸任

▲訂正 大正五年四月七日京城日報第三千八十號京城府告示第五號中歲入臨時部第四款の次に第四款とあるは『第五款』の誤、歲出經常部第五款武圓とあるは『金壹萬參千九百參拾武圓』の誤又た大正五年四月八日京城日報三千八十一號京城學校組合告示第七號中一歲計剩餘金の十分の三は』の下『特別』とあるは『教育』の誤一歲入臨時部第四款第一項の下『特別』とあるは『教育』の誤一歲出經常部第三款第三項の金額『壹萬四千七百拾四圓』とあるは『一萬四千七百二十四圓』の誤一同第八款第三項の下『特別』とあるは『教育』の誤一同第十款の下『雜』を脫す大正五年四月十日京城日報三千八十四號京城學校組合告示第八號中一『徵收規程』の下『中』を脫す一大正の下『四』とあるは『五』の誤一『小學校』の下に『補習科を除く』とあるは『（補助科を除く）』の誤



卒業飛行の訓示＝九日所澤飛行場にて

東宮殿下御還啓

天皇陛下に御對顔あらせらる

本月二日東京御發輿兵庫縣舞子附近御見學の上還啓の御途上靜岡御用邸に御一泊遊ばされたる皇太子殿下には九日午前九時二十分文武官其他の奉送裡に靜岡御發沿道の奉迎を受けさせられ後二時十五分東京驛に御著東陸軍歩兵中尉の御軍服にて御降車各宮家御使を始め東郷元帥、波多野宮相、大迫學習院長、島村軍令部長、九條掌典長以下文武官の奉迎を受けさせられ長谷川局長の御先導にて御車寄より御馬車に乘御入江侍從長御陪乘御機嫌麗しく高輪東宮御所に還啓相成りたるが十日御參內 天皇陛下に御對面あらせたる由漏れ承はる（東京）

卒業大飛行の成功

東宮台覽＝千三百米突の昇騰

所澤靜岡間卒業野外大飛行は九日早朝第二日目を決行さる此日空曇りたれど風二三米突に過ぎず靜岡の岡大尉及び函根山上の箕壁中尉より「天氣靜穩」の報告を得有川隊長出發命令を下すや午前五時五十分木下中尉は先づ

▲廿四號機にて 發し遲るゝ事二分にして小島少尉十九號に搭乘相携へて出發せり斯くて兩機は午後七時二十分大磯東端に機影を現し小田原の海濱を千二三百米突の高度にて箱根山方面に向ひしも山は雲深く氣流甚だしく不調なりしかば一旦小田原に引返し更に十九號は約七百米突の高度にて山北方面に向ひ廿四號は七時廿五分小田原在酒匂村松濤館裏手の海濱に著陸約

▲二十分間休憩 の後機首を熱海方面に轉じたり靜岡飛行場にては早朝より岡大尉以下出場準備を爲す內午前八時十分十九號機先づ到著搭載し來れる十六號機修理材料を取出し修理完成を待つて前夜靜岡御用邸に御駐泊相成りたる東宮殿下の台覽に供すべく小島、中田、杉野、中澤の各飛行將校交々御用邸の上空に飛翔して敬意を表したるに殿下にはハンカチーフを打振り／＼

▲答禮遊ばされ たる後閑を賜ひたり斯くて十六號、十九號の兩機九時十八分東に向ふや十時十五分二十四號機到著同十一時十分一旦靜岡歸航の途に就きたり而して所澤にては十一時三十分に至り遙かなる雲間に一機影を認む之れ前夜靜岡に一泊せる長尾中尉の第十六號機にして場上を旋回する所へ又一機小島少尉の第十九號現れ十六號は十一時四十分十九號は同四十五分無事著陸したり木下中尉の廿四號機は午後一時廿五分無事歸還したり（東京）

◎遭難船を救ふ

本月四日午後四時鎭南浦中村組所屬曳舟丸船長は黃海道鐵島假泊中數寳江中流に於 十二時黃海道載寧郡新安浦黃斗煥は鹽三石九斗及び温突石米石等を積載し水夫二名と共に鎭南浦を發し共に下流に押流されつゝありしが幸にも鎭南浦警察署警備船に救助せられたり但し黃斗煥の屍體は今尚不明

ぐる目的にて此程現場の實地調査を遂げ同船の沈沒位置潮流の關係等を確めたる上作業船の廻航を求め作業に着手する筈なりと

されたるも幸にして生命に別狀なし次に鎭南浦府碑石里白昌祚（三）は鎭南浦久原製錬所土工作業中土砂崩壞して埋沒されしも

食洗ふが如く夫と共に勞働不可能なる爲め該女兒を四月五日午後八時頃觀水洞百四十三番地洪正機方表門內に棄兒として其の儘逃走せる

◎青年將校の對死原因判明

仁田原師團長談

去月三十日夜九時頃大阪市東區常盤町松屋町筋西に入る蕎麥屋四方二階に於て輜重兵第一大隊中尉岡田啓三（廿九）と同少尉曾谷壽夫（廿五）の兩人が原因不明の對死を遂げたる事件は當時世間より大なる疑問として其解決に注意せし所なるが當局者なる憲兵隊並に法官部にては之が原因調査中の所此程に至り漸く其眞相判明したるを以て仁田原師團長は師團長會議に參列の爲め上京の際隨行者に報告すると同時に一方東京課長をして九日午後五時各新聞通信記者を招き對死の原因に就きて左の談話を爲せり曰く

岡田は平素正直で親切叮嚀な上に仕事に就ても頗ぶる綴密にやつて居た丼して友誼にも厚く酒は飲まず煙草も喫まず只

▲刀劍讀書に趣味 を有つて居た、所が大正四年九月馭馬が逃走の際之を捕へんとして傍に置きあつた器具入の箱で前額部及び顳顬部に負傷して以來腦を破壞したものと見え物事に倦み易く激務に堪へず二箇月程轉地療養した事があつた、又曾谷は仕事に熱心で多くの人に交はらぬ、下級の者に對し非常に親切なる男で平素極めて温順、時々琵琶を彈ずる位であつた、兩將校が同中隊に勤務するに至つたのは大正二年六月で其れから兩人の間は

▲以前よりも親密 となつたのである、短刀や誓約書を曾谷に岡田が送つて以來本年一月兩輜重隊に出入の洋服屋の小僧が曾谷の机の上に右誓約書を拾ひ密と曾谷の落したに置き歸りしものを岡田が知つて非常に不滿を抱き其後屢々雙方の間に口論の絶間が無かつた、對死の當日も岡田は補佐官となり隨時檢閲の下檢分を爲し午後六時頃醫務室で二人が落合つた時も何事か憤激した口調で云つた外に其聲が漏れる位に言合をして居たが折柄曾谷の從卒村上が曾谷の家に來たと下宿から電話がかゝつて來たので

▲兩人は親しげに 家を出て前記の場所に歸つた丼して三人で座して話をして居たが其時始終岡田が難しい顏をして居るので從卒の村上も居心地が惡かつたと見え又次に來ますと云つて歸つて了つた、其際岡田が曾谷に迫るまゝに紫の風呂敷に包んだ短刀と誓約書を同人の傍に置いた事を村上が見て歸つた所が其後で誓約書を反古にする位ならば安心の出來ぬ奴であるから殺してやると云つた、スルト曾谷も止むを得ず、君に殺されるのは本望だと答へたので岡田は傍に置いてあつた軍刀を拔いて曾谷の胸に差附けた所が其途端に

▲曾谷の胸を突て 死に至らしめたので自分も續いて死んだのである、だから殺すと云ふ意志は毫頭無つたのである、其證據には三月二十七日岡田は郵便切手を封入して東京の砲工學校へ兵器の事に就き質問書を發し又戰術作業事項回答書の用紙を小使に取りにやつた位であつた事を證明する事が出來る。只恨みに思ふのは傍に軍刀が無かつたなら這麼事には立至らなかつただらうと返す／＼も殘念に思つて居る（大阪）

□お辨當の拵へ方

摘草と野遊び

辨當の種類は幾つもありますが、家庭一同で野遊びや摘草に出かける時は、なるべく手輕く出來るものがよろしう御座います。それには、

◇切めし これは普通は握りめしでよいのですが、握り飯は握り方の上手下手で形狀はとも角もくずれ易うございます。それで木の拔き型を一つ用意しておいて、それへ御飯をつめてぬけば丸形も花形も思ふやうに拔けて形がようございます。上に胡麻鹽をかけます。これへそへて、スルメ、玉子、又はにしめものなどを用意します。にしめは、鹽鮭、くわい、燒かまぼこなどがよろしい。鹽鮭は皮をむき、二寸位に切り水に入れ、あくをとり去り、鍋に煮出し、醬油、酒、砂糖を入れ、この中にて煮ます。くわいは丸のまゝでよくゆでます。それを皮をむきその後それを取り出して斜めに切ります。取つた後で、二つ切りにして、鹽鮭同樣の味に煮ます。燒かまぼこは適宜に切つてそれらにそへます。玉子はゆでゝ、皮をむき縱で四つ位に切ります。これには鹽をそへます。スルメは鹽水にて先づ洗ひ、それを燒きます。

◇壓し鮨 これも壓し枠を一つ拵らへておけば、握り鮨よりは器械的ゆゑ、素人にでも手際よく出來ます、壓し鮨の材料は旨いものなつかへは限りがありませんが、玉子椎茸のこまく、烏賊などがよろしうございます。玉子は鶏の卵をよくすり、その中に玉子を入れ、味淋又は砂糖及び醬油の少量を加へて味を付け、鍋にかけて、それを玉子燒鍋にて薄く燒きます。椎茸はゆでゝ石付きをとり、煮出し、酒、醬油にて甘い位に煮て之をこまかに切ります。烏賊は皮をむき、よく洗つて、酒と醬油、砂糖とで煮上げ片端から刻みます。

◇つけ方 は壓し枠の中に御飯を三分位の厚さにつめて、上に燒海苔を一枚のせ、その上から又三分位の厚さに御飯をつめて、今作つた材料を入れて、蓋をして力をこめてよく壓し、それを拔いて適宜に切ります。海苔卷の方は、鹽水で洗つた干瓢を煮出し、醬油砂糖で煮ます。して、これを海苔の長さに切ります。一方分厚な海苔を燒いて、半分に切り、その上に三分位の厚さに御飯をのせます、その時御飯が崩されてもよい樣に、海苔の端を少し明けておきます、その眞中に干瓢を四五本のせて、端から卷きしめて、適宜に切ります。

◇入れ物 は重箱などは隨分に荷になりますから、竹の皮か經木が一番よろしう御座います。しかし竹の皮にしろ、經木にしろ、その食べがらを捨てゝはそこらが散かり、且つ無益です。やはり持ち歸りて保存すれば、再びよく洗ひさへすれば、使用されます。申すまでも御座いませんが摘草などに行くのは人家を離れた野さか田の畦ですから、勿論飲みものなども充分とは思はれません。それにはお茶がお湯でもありあはせの瓶につめて持つて行く方がよろしい。又時に申しし切り飯の枠は羽子板形の五分位の厚さのものが市中に賣られて居ります。

◎汽船坐礁

荏子島沖にて

十一日零時三十分全羅南道荏子島沖に於て大阪金澤汽船合資會社所有の三島丸（一九一七噸）坐礁せり同船は支那秦皇島より石炭二千三百噸を積載し內地へ歸航の途中なるが乘組員全部安全にて離礁の見込あり（木浦特電）

◎踊つて魔神を追つ拂へ

▲怖るべき鮮人の迷信 全南長城郡北上面北下面方面にては近來女のみ多數打集ひ朝鮮踊を踊りつゝ村中を馳廻り稼業も手に付かざる有樣なるより其筋に於ては之が原因を調査せしに先般來小兒病流行し相次いで死亡するを以て之は白髮の魔神が小兒を取り食ふものなり而して魔神は女が大嫌ひなれば女のみにて之を踴面に追出すべしとの迷信より斯く狂態を演ずるものと知れ鮮人の疑念を解くべく目下醫師をして小兒病の原因を研究せしめつゝありと

◎豪遊客は曲者

三重縣津市藏所生れ當時龍山元町二丁目和歌の家料理人田邊幸次郎（二三）は四月三日午後七時頃同家の仲居某女の所有なる擲行李內に納めある大島絣女袷外十一點（價格百圓）を竊取し同夜其內五點を風呂敷に包みて元町二丁目の毛利質屋に金二十五圓に入質し殘品を京城に持ち來り旭町二丁目の佐野質屋に金十圓に入質し得たる金にて新町遊廓巴樓に登樓し散財を極め込み居る所を本町署の刑事に取押へられて取調べの上檢事局に送られたり

◎その金此方へ

刑事と稱する曲者

京城林町理髮職蔡泳勳（三〇）は四月六日午後十時半頃在南洞の雜貨商李昌烈が新町の內地人煙草屋にて煙草を買ひ剩錢を財布に納むる際同人が紙幣を所持し居るを見て同人に近づき一寸聞きたい事があるから本町署迄同行しろと詐稱し恰も刑事巡査の如くに李昌烈を同行したる際隙を見て李の懷中に手を突込み財布を拔き出さんとせしも同人に其の不法を詰られて果さず本町五丁目郵便所の路次に差蒐るや突然捕繩を取出して李昌烈の左腕を捕へ自分は本町署の刑事なり同行すべしと挑みたるも同人其の擧動を怪しまれ隙を窺つて逃走を企てたるも附近帳場の車夫等に取押へられ本町署に突き出されたり

◎十四棟の燒失

去る四日夜全南谷城郡石谷面老峙里金成權方温突より出火し折からの烈風に煽られて四方に延燒し遂に十二戸十四棟を燒き漸く鎭火せしが罹災者中には衣食住に窮せるもの十二三名あり目下警察署にては救濟方協議中なりと

タングステン

アーレン商會主談

重石の分析法

現今の暴騰せる重石相場は世界に於ける重石の品薄の爲めでもなく又需要に對する充分なる供給不足といふ譯合のものでもない、知らるゝ如く重石は

◇目下戰時禁制品 の一つとなつて居ます現に紐育を出帆した汽船は同盟側の國に向つて輸出する以外他國へ重石を輸送することを禁じられて居ます、由來米國は世界最大の重石鑛を有する國であり就中彼のコロラド州の如きは一箇月優に二千噸の採掘量を有するものさへあります、然るに不幸にも此の大鑛山は他の多くの鑛山と同じく從來獨逸人の手に支配されつゝあつた爲めタングステン鑛石が他の同盟國に送られるを妨げらるゝの止むを得ざるに立至りました、斯る理由の下に戰時中他から重石が採掘されつゝある間は是等の鑛山は固く閉塞され且つ採掘品は貯藏されてあります、猶ほわれ／＼の見込みでは

◇單に紐育市のみ に於ても現時還鑛されたるタングステンが優に四千噸以上貯へられてあります、猶ほ且つ支那、南米並び葡萄牙を合すれば實に六千噸以上の重石が戰局の終戰を待ちつゝ貯藏されてあるといへます、此の巨額の重石は世界に於る一箇年の消費量以上であるから戰亂終熄後此過剩なる貯藏品が消化し盡くるまでは重石相場の下落は蓋し火を睹るよりも明かであらう、次に私はタングステンを含有する鑛石を試驗する方法に就いて少しくお話しませう、試驗するタングステン鑛は先づその小部分をとつて細かく粉末に搗りつぶします、そして其れを試驗管に入れてよく洗つた上其の中に

◇輕い鑛石と水とを よく滿らし猶ほその上他の試驗管に入れます、斯く準備が能きました上は更に鹽酸を注いでそれを蠟燭の焔によつて四五分間煮沸することが必要です、然る上更に硝酸を加へて沸騰させる間に黄色の粉末を發見したならば確かにタングステンを含有したものであります、此の如く完全な試驗に要する費用は僅かに一圓許りで濟みますが若し試驗法の御解りにならぬ方があらば私の事務所に於て何時でもお教へ致します（つゞく）

◎放火して竊盜

全北淳昌郡金果面水楊里居住金泰燮（二九）及び申永順（二〇）の兩名は去る一月二十三日夜同郡豐山面月山里朴立來方の物置に放火し其の騷ぎに紛れ其の隣家たる朱武彥、林仁鎬の兩家に忍び入り炊事道具を竊取したるがこの程に至り發覺其の筋の手に捕へられ放火並に竊盜罪として檢事局に送らる

演藝案內

開演 大正館 電話八七三

○同月七日より臨時特別大興行 ▲寶島 ▲ロープの巨魔 ▲盲目 ○滑稽床屋 ▲尾上松之助實川延一郎合同大車輪 ◎高山彦九郎 全三卷七十八幕 ▲喜劇ルビン會社大傑作 ◎大阪大活劇大地震 全三卷六千呎

◎今の家庭劇うき世 全四卷三十三幕

本町 壽座 電話五七八 四幕 一幕 三場

天下一品 明暦奇聞 黃金館の四大寫眞

振袖火事

新派 愛國心

大活 海底鐵道

澤村之助 狐忠信

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七

電話一〇五 壽館 ◎奈西活劇 海底鐵道 全四卷 ◎新派 振袖火事 全四卷 ▲義太夫出語り

島根縣人佐々木松四郎に告ぐ 至急用談あり歸國するか又は居所を通知せよ◎居所を知る御方は二人を限り通知せよ ▲石州有福村 佐々木兼作

滿洲五龍背溫泉 安奉沿線五龍背驛を距る二丁 閑靜にして避暑避寒に宜し 風光絕佳にして一大樂園地なり 諸病に特効あり理想的療養場なり 宿泊、下宿、自炊、各種の設備あり

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

天氣 曇一時晴れ 四月十三日 日出 午前六時 日入 午後六時

ガラシ 赤毛染 ナイス

自然の色艶にワケなく染るナイス！

五大特長 タツタ二十分で染る。一度染めて永く保ち。艶々と黑く美はしく。襟、枕に汚染せず。用法至極簡易便利也。

價 大瓶 金七十錢 小瓶 金四十錢 男子用 金廿錢 全國各藥店化粧品店にあり

大阪 東京 丹平商會

各種 サリチル酸販賣 釀造用藥品類一切

右極力出精可仕候間多少に不拘御用命願上候 大阪市東區淡路町三丁目 電話本局一二七七三 振替大阪二六七八 菊正宗 泉正宗 灘銘酒家納品店 洋藥問屋 郡藥局

はカリ印

油断大敵！

かぜは萬病の基で決して油断は出來ないのである。之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。

大阪田口のヘブリン丸を はカリ印のヘブリン丸と改め

●光榮あるスミス氏
二皇子殿下より御下賜金

▽青山原頭の大飛行▽

アート、スミス氏は八日午後二時春霞靉靆く青山ケ原に於て操縦自在の妙技を振つた天晴れて風靜かに場内を色取る彩旗は翩々として春風に舞ふて居る周圍には總て紅白の幔幕を打ち廻し

▽皇族席は場の西方

に設けられ一時三十分には伏見大宮同若宮、山階、華頂の各若宮殿下が台覧あらせられスミス氏に就いては本邦著前から其の怪腕を傳へられて居た處へ國府臺の豫備飛行で非凡なる飛行の天才たる事が確められた特に同日は快晴の土曜日とあつて午前十一時頃から青山通りは大混雜、青山行の電車は何處も鈴成りの景氣で十一時半には早くも二萬餘を以て數ふるに至つたが飛行間際に至て實に

▽十二萬餘の入場

を見正午過ぎには各等觀覽席に人の山を築いた、陸軍省から谷田工兵課長其他陸海軍飛行將校も來らず來場した、此景氣を見たス氏は得意滿面に溢れ今日こそは放れ業の有り丈け怪手の奥の手を顯して滿都市民に敬意を表せんものと早朝早くも機臺の組合を終り發動機の調整をも濟まして頻りに時刻の至るを待つて居た、軈て午後二時飛行開始の煙花は頻りに天空に轟き渡つて數萬の觀衆は俄に動搖めき渡つた、丁度其時

▽兩皇子殿下も台臨

遊ばされたのでス氏は此上もなき光榮に感激して居た、軈て氏は愛乘の機臺を陸軍大學校裏の格納庫から引出し爆音高く場内の砂塵を蹴つて出發し先づ場内を一周する、觀衆は其れ宙返りと動搖めき立つ中に機翼の兩端に取り付けてある煙火は黄龍の如き怪烟を吐き晴れ渡つた春空に二條の筋を縦の如く畫すると見る間に先づ一回の宙返りを試みた、續いて二回又た三回遂に

▽七回まで續行し

た樣は宛ら飛燕の春風に舞ふが如くである、續いて窺々たる横轉飛行を行ふを二回にして三百米突位の中空に降下し、丁度兩皇子殿下の御面前に於て再び鮮かな宙返りを横轉を行ふこと總て三回、四十五度位の急角度で降下したのは二時十七分であつた、ス氏は長岡中將に伴はれて二皇子殿下の拜謁を辱なふし、二皇子殿下より百圓、伏見大宮殿下より百圓の御下賜金ありス氏は

▽此の上もなき光榮

なりとて御前を引き下つて休憩した四時少し前第二回飛行を報する花火を打ち揚げると同時にス氏は業々しき飛行装束も著けず只普通の履の飛行眼鏡をかけて坐乘し觀衆拍手の間に場の西方から東方に向ひ雲なき碧空を段々上昇して約一千五百米突位の蒼空に達し前回同樣の花火仕掛の黄烟を上翼の一端から吐き出すと

▽花火仕掛の黄烟で

軈て機體は逆になつて見事の宙返りを二回續行し、次に横轉飛行をしながら「S」字形を描いたがス氏は「スミス」なる文字を現はす考へであつたらうが風の爲に吹き去られたがSの字だけは明かに認められた、其機を操縦するの妙は自由自在宙返り横轉を行ふこと七回にして螺旋狀飛行を見せた五百米突の中空から機首を垂直に維を捲る如く機體がクルリ〳〵と螺旋の樣に廻りながら卅米突位の低空まで下降し急に機首を水平に直して著陸した鮮かさには十餘萬の

▽觀衆が思はず拍手

して其妙技を稱へた、ス氏は伏見大宮殿下より握手を賜ひ無上の榮譽に浴し午後四時三十分無事當日の飛行を終つた斯くて帝國ホテルに歸りスミス氏は喜んで語る『本日の光榮は私の一生を通じての最大である國元の父母に知らせたら大に喜ぶでしよう扨今日の飛行で適切に感じた事は米國では山の多い處でも二千五百呎も上昇すれば風が靜かであるのに日本では今日の二回目の飛行に四千呎迄昇つたけれど猶が

前後左右に動搖

した、近くに山も無いのに斯んなに妙な風のあるのは實に不思議でならない、それは兎も角も上空から東京を見ると曲つた川や緑の森が人家の間に點々して居つて、丁度公園の中を散歩して居る樣に感じられた、日本で飛行を習つた者は此の點に於いて幸福で、あの妙な氣流に馴れて居たならば大抵の處で容易に飛行が出來る筈である』(東京)

●水鉛の大礦脈發見さる

水鉛と云ふのは近頃殊に喧しくなつた鑛物の一つで、曾て獨逸の科學者が日本刀を買入れて分析した結果

▲日本刀の切味 は水鉛の含量に依る事を發見して、遂にはそれを四十二珊砲の鋼鐵の中に入れて威力を發揮させたといふ程のものである、我國でも近頃大砲の砲身に使つたり、近くは岸博士によつて發動機の實驗中に含ませて

▲飛行機に應用 する事が發明せられ非常に成功したと云はれて居る、歐洲戰爭前には一噸七八百圓の相場であつたが、開戰後の相場が一足飛びに飛び上つて現今では一噸一萬五六千圓の相場を唱へられて居る處が、今度は岐阜縣土岐郡土岐津町大字丸山で、その水鉛の大礦脈が發見せられたのである

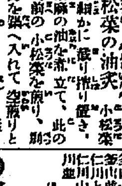
▲發見の場所は 土岐津町を西南へ一里許り距つた處の丸山と呼ぶ花崗岩質の岩山で、その山の麓には、丁度中央線の隧道十七號が貫通して居る、發見した人は前名古屋市長加藤重三郎氏の合息森田政雄氏で發見されたのは本年の一月であつた、水鉛は岐阜縣飛彈の白川村と、同武儀郡の洲原村附近からも既に採掘されて居る、丸山のは最初山の上から谷底へ轉がり落ちた

▲石塊に水鉛の 附著して居るのを見て土地の人々が「この山の石には毒がある」抔と言觸らして手にだに觸れなかつたものである、それを森田氏が發見してから漸々調べて見ると、山麓の十七號隧道の石までに水鉛がくつ付いて居るのを發見したさうである、全體この附近は一帶に礦脈となつて居て石の堅い事と言つたらお話にならず、以前

▲隧道を掘る時 にも請負師の小松組がそれが爲めに鐵道院の豫算通りでは竣工させる事が出來なかつた程である、そして森田氏等は去る三月初め加藤重三郎氏の名儀で區域七十五萬坪の試掘願を其筋に差し出し、今は其認可の來次第に試掘をやらうと準備を整へて待ちつゝある

●逃走中逮捕さる

慶北永川郡生れ金斗鈸(三)は全北沃溝郡舊邑面五谷里の豪農田萬豊方に事務員として傭はれ中昨年陰暦七月沃溝郡臨陂面東上里李高源を料理店に連行き御馳走をなし言葉巧みに百圓を無證文にて借受け其後高源より督促を受くるも借りし覺えなしとて返さず尚ほ昨年陰暦十一月主用にて水田の代金を受取に田文水方に赴きし際百圓を胡魔化し更に本年正月主人が平野某より千圓を借受くる際二百圓を著服し横領詐欺の告訴をさるゝに先ち早くも京城方面に逃走せしが遂に取押へられて群山署にて目下取調中



囗小松菜の油炙

小松菜を茹で細かに截り揃え置き、別に鍋へ胡麻の油を煮立て、此中にて前の小松菜を煎り、別に鍋身を鍋へ入れて空煎りし、是を二つに割りて、端より細かに刻み物とを、前の小松菜の中へいれ、これへ煮出し醤油砂糖を加へて、汁をひた〳〵に作り煮こみて、あまり汁の無くならぬうちに、器へとり上より胡椒なり、七色唐辛なりふりかけて備めます。

商況

東京株式特電

	十一日前場寄付	大引
日本郵船	一八八、〇〇	一八八、一〇
[illegible]	……	……
同新	一三六、八〇	一三六、五〇
[illegible]	一三一、六〇	一三一、七〇
[illegible]	……	……
東株第一	二四九、九〇	二五九、九〇
東株第二	二五〇、九〇	二五〇、四〇
東新第一	二一〇、九〇	二一一、七〇
東新第二	二三〇、三〇	二三三、五〇

債券現物特電

十二日出來値段(前日との比較) 東京手形、東京瓦斯、朝鮮銀行、朝鮮殖産、南滿鐵道 ……

公債直取引特電

十二日出來値段(前日との比較) 五分利特發、五分津、一圓五分、二圓五分、甲號五分 …… 九〇、〇〇

深川在米特電

十二日中在高 朝鮮米 一一七、二〇七 / [illegible] 一〇一、五〇 / 内地米 一、九八五、四四五

東京期米特電

大阪期米特電

十二日前場 第六月限 寄付 四〇、〇九 高値 四〇、〇六 安値 四〇、一一 止め 四〇、一八 (後場 ……)

下關期米特電

十二日前場 當限寄付 三一、五四 中限寄付 四一、八六 先限寄付 四二、六六 止め ……

正米筋質に硬弱なるも値頃實に纏まる市況持合

大阪株式特電

十二日前場 寄付 高値 安値 止め

宇治川水、神戸電氣、京阪電鐵、和歌山紡、合同紡績、鐘淵紡績、岡上新株、東洋紡績、大阪商船、日本綿花、大阪米穀、東京新株、大阪株式 [illegible]

大阪三品特電

十二日前場 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 寄付 一二七、八〇 一二八、〇〇 一二八、九〇 一二九、二〇 一二九、九〇 一三〇、〇〇 大引 一二八、〇〇 一二八、〇〇 一二八、七〇 一二九、一〇 一二九、四〇 一三〇、〇〇

朝鮮物産特電

馬山改、群山改、木浦改、鎭南浦改、同特改、群山改、仁川改、南浦改、釜山改、釜山上白、仁川中白、仁川上白、川中白、仁川白米 [illegible]

釜山大豆、釜山大豆、鎭南浦大豆、元山胡麻、城津大豆、龍山大豆、長湍大豆、鎭南浦大豆、仁川小豆、宣川大豆、不換大豆、群山大豆、木浦大豆 [illegible]

雜報

●綿糸更に安し　綿糸入荷は定期の不勢と共に十一日の現物は定期の不勢と共に十一日の三品市場は勢を報じ前場面形で更に五十錢安の成行き不味なるもの十一段不味の成行きにて寄付は當限百二十七圓八十錢九十錢月限の三十圓割れを見せたり大引に

●金巾類不勢

金巾は輪出筋の手控へにより内地市場は次第に安の成行にて十一日の大阪入電は更に二錢五厘安を報じ最近に三

●落十二錢五厘方低

不況に今日京城各店も……

●夏帽子益强調

格落品少

突込百二十三圓迄

●漬物類の近況

三割高

●生果概して不味

昨年以上の減收

一割方の騰貴

下關相場

▲朝鮮白米も變らず……

▲大豆は底堅し……

▲小豆は狂はず……

▲朝鮮一等白米(當用) 十三圓六十錢
△同 十三圓七十錢
▲同二等白米(當用) 十三圓三十五錢

仁川現物市場

▲穀入氣なし ▲正米入荷なし ……

釜山穀物市場

▲正米(飯米) 本邦期米の不味に連れ買人も……
▲大豆入荷なし 氣配依然保合

京城正米

同塊山大豆	九圓六十錢
深川大豆	九圓七十錢
同塊口	九圓六十五錢
元山大豆	九圓八十錢
同	九圓九十錢
同 玉	十圓三十五錢
同塊口	十圓二十五錢
鎭川酒米大豆	十圓二十五錢
同	十圓三十錢

人氣は軟弱ながら安値に買物なしといふ現況なれば市況は兎も角持合と見るの外なかるべし一般に此際多少迷ひの種きもあり眼先一寸此處持合はんかに思はる

仁川米豆取引所仲買人
利 仲買店
電話長九〇五番 電信略號リ

南大門の廻穀

京城雜穀

徐々九圓五十錢

二十錢安

生魚市場

仁川期米

十二日前場 一錢高の入電

田中金店

十二日の六月限

仁川米豆取引所

賣買取組高

前場	
寄付	十一圓四錢
二節	十一圓四錢
三節	十一圓四錢
四節	十一圓三錢
五節	十一圓三錢

四月限 三百石 / 五月限 一萬七千八百五十石 / 六月限 三萬三千八百五十石

出來値比較 前日と比較 十一日後場 一一、〇九 一一、〇〇 一一、〇二 一一、〇九 安 五 高 二 安 五 高 三

市場零聞

▲前場釘付け　▲更に動かず　內行節々相應商　▲追々動機に接　▲訓示に就き　▲同樣の收穫一昨年略　▲上實に一百萬石以　▲餘す處果て幾何　▲變動期近し

北濱だより

▲紡績株　我國の紡績業は……

夏物品揃

金時足袋地下足袋
毛綿メリヤス製品
綿縮シャツ他製品
パナマ、麥稈
キング、鳥打帽子
タオル、手拭ハンカチー
フ、風呂敷、晒色木綿信玄
袋、洋服付屬品、麻裏草履
其他和洋雜貨、鮮人向大
巾阿波縮

各種取揃居候

金時足袋
仁川港新町
坂田合名會社支店
電話二六一 振替二六一七九番

新規御取引御希望の御方は御一報願上候

人蔘エキスは下記諸病に特効あり御愛用の上精力を增進せられよ

警務許可濟

特効能 神經衰弱、老衰、腦病、肺病、痔病、子宮病、胃腸病等、萎不良より起る諸病外用に使ふよし

定價 金三十五錢 金六十五錢 金一圓二十錢 金二圓

開城白蔘尾蔘大販賣
人蔘製藥 人蔘菓子 細工飴 朝鮮土產一切
製造發賣元 京城本町二丁目郵便局横 電話一四八〇番
津村兄弟商會

内科 小兒科
芙蓉醫院
醫學士 森定吉
京城本町二丁目(瓦斯會社向側) 電話二六二三番

■縣下に外務社員(新聞雜誌書籍)及び特設通信員(寫眞舘員の好副業)(賣捌店員の好副業)各拾名採用
▼業務高尙、▼月收三十圓内外、▼副業としても最適
希望者は履歷書に郵券四錢を添へ至急申込まるべし
東京市麹町區土手三番町 大正通信社

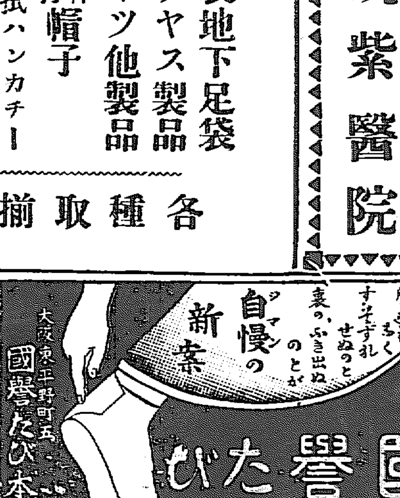
●亞鉛鑛石高價買入
御照會被下候得ば最も御便利に御取引申上候
廣島市水主町
平尾雅次郎商店工業部買鑛課
電話長二〇〇三番 長二〇〇七番 二二九六番

代理店 京城黄金町二丁目九八番地 吉田謙造

内科小兒科 婦人科花柳病
筑紫醫院
京城櫻井町一丁目(大正館南半丁) (入院隨時)

大阪府堺市 製造發賣元 肥塚源次郎
本火發賣

京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店



ぢ疾者に告ぐ
◎いぼぢ◎きれぢ◎だつこう◎ぢろう◎出血痔に効力正しき良藥往復端書で申越の方に詳報す
兵庫縣加古郡坂元村 元庄本家

花柳病外科專門
◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱◎六〇六注射包皮其他手術毎日◎診察無料◎入院隨時
京城長谷川町南大門通農銀裏
司生堂醫院

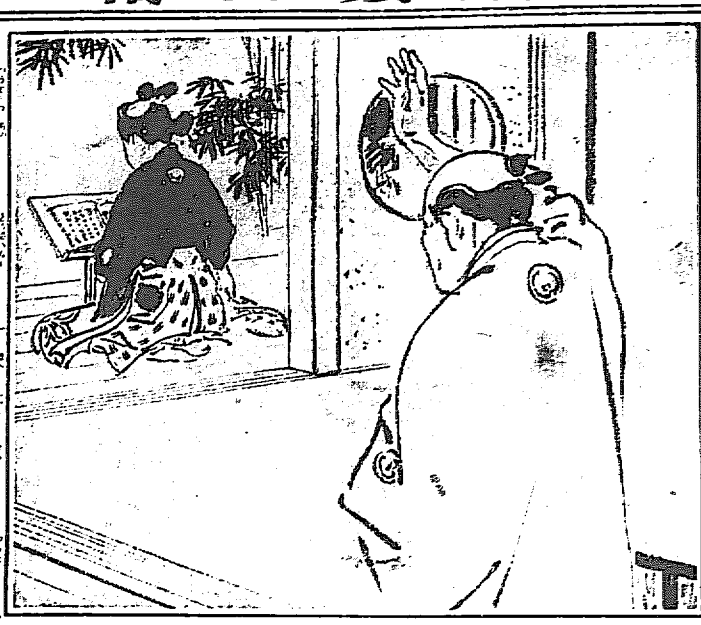
亡祐吉葬儀の節は御繁務中態々御會葬被成下難有奉存候混雜之際御尊名も伺ひ漏れも可有之ご存じ乍略儀以紙上謹て御禮申上候
大正五年四月十三日
山岸祐太郎
同 爲次郎
親族總代 中島省三
友人總代 新井虎太郎

宮本武藏

第六回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

宮本武藏といふ人は前回にも申上げた通り幼少から親の言事を聽かずに論をして居る、父の伊織が伜の高慢の鼻を挫いてやらうと思つて氣を付けて居ると或日武藏が縁側へ出て書籍を讀んで居た、お父樣は座敷に居て小柄を取出すと武藏を目懸けて伊ヤツと一聲投付けた、昔の人は亂暴な事をするもので、ピユーツと飛んで來た手裏劍、武藏はヒョイと頸を振つたから小柄は庭へ飛んで終つた、武藏は振向もしないで書見をして居ります、其眼力に流石の伊織も驚いた、通常の者ならばお父樣何をなさるといつて退つて見るべきを平然として書籍に目を著けて居るのは恐入つたもの、お父樣の伊織が手を拍つて我子ながら武藏は天晴なもの、後世に於て日本隨一の名を取るであらうといつて感嘆いたしたといふ、其からお父樣も叱言をいはず武藏の好む儘にさして置いた、故に劍道の師といふものを定めず、一流一派に拘泥すると器が小さくなるといつて決して師を定めません、先づ石川軍刀齋先生に就いて戸田流を學び、筑前黒田の家來田宮左金吾に就いて田宮流を學び、上州箕輪上泉の門人疋田文五郎に就いて神陰流を學び其他十數名の人に就いて諸流を究めました、さうして自ら兩刀を使ふことを發明した、どういふ處から兩刀を使ふことを工夫したかといふとお父樣の伊織といふ人は十手を使ふ事を工夫して先方から斬込んで來るやつを十手でガツチリと左手で受けて、右の刀を持つて斬捨てるといふことを考へた、武藏はお父樣は召捕役人とは違つて三千石の家老を勤める人であるに十手を持つて居るといふのは不體裁、武士は何のために兩刀を手挾む、其爲に差添といふものがある、大劍小劍を左右に持つて戰ふが宜い私は兩刀を使ふことを工夫するといつて、諸流の長所を取合して遂に二刀流といふ一流を編出した、一本の木劍を下へ突出し、一本の木劍を振上げる之を活殺の構へといふ、二本の木劍を前に太鼓の撥のやうに突出して持つのを陰曲の構へといひ左りの方へ引いたのを陽劍、右の方へ引いたのを陰劍、二本の木劍を左右へ下げて立つたのを水形の構へ、之を表五本と稱し又裏七本といふのがある、之が總て轉化すると十字の構へとなる、宮本の十字の構へは名代だ、誰も之を破る事は出來ない、併し只一人この十字を破つた人がある、其は京都今出川の住人天下三名人の一人吉岡兼房齋といふ人物だ、されば名人になつたからといつて油斷は出來ないどういふ名人が出て來るかも知れない、其故武藏は生涯劍道の工夫をして居た人で又學問もある、禪學の出來た人で劍と禪と同じであるといつて劍禪一致を說いた、その書物は今に殘つて居る、又書を能くして雅號を二天、又玄心といふ、其外和歌の道でも堪能の聞えあり後年天草一揆の時古今集を懷中して出陣したといふ有名なお話しもある、岸柳を討つて後に細川家に仕へた此のお話しは後に申上げますが細川家に仕へてから其功績は大したもの其頃の落首に『武士は流石肥後柄長門鍔』九曜の星に一に三にといつて肥後柄は細川、長門鍔は毛利家の事でありますが細川の家來は刀の柄へ鮫を捲いて鍔は多く透彫を好んで用ゐました、之を武藏好みといつて其頃流行したさうで、武藝者といへば宮本と荒木と一口にいふ位る、併し荒木又右衛門は柳生十兵衛の門人で柳生神陰流を能くしたが一流を編出した譯ではない、宮本は右に二天流左に正名流、合して神免二刀流といふ、武藝流祖錄にも記してある、宮本の爲には師に相當する石川軍刀齋巖流、修羅の妄執を晴さんため小石川宮坂下佐々木岸柳の道場へ乘込んで見事岸柳を打据え、表看板を引外して師の靈魂を慰めんといふ心底、妻にも心中は語らず只一人夜の明るを遲しと相待つて居ります



入院隨意(診察夜九時迄)

皮徽科

皮膚病 徽毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元四町)

佐藤醫院 (電話一一七三番)

一お聞きなさい

▲五萬人の發狂兵士 墺軍は戰に疲れて士氣沮喪し近頃發狂者が多くなり日毎維也納に到著する軍用列車には二三十人の發狂兵士を見ない事はない中にはブコビイナで戰鬪中或中隊に突然十餘名の發狂者が出來、それが逆に戰友を銃殺し出した爲め此中隊は遂に退却したといふ話、又波蘭方面に戰つてゐた一人の准士官は戰鬪中突然塹壕の內で舞踏を始めたといふ話もあり已に瘋狂院に收容された人員は五萬人に上り多くは憂鬱症と恐怖妄想狂ださうな

▲奇緣の電話九五五番 乃木大將家の電話は芝九五五番であつたが、大將の死後佐々木侯爵家に保管されて居たが村井銀行が買取つた爲め番號は改められたが、今度麻布村井銀行の支店が出來て電話を引くとそれが偶然にも前の九五五番だつたので同行では因緣を不思議がつて居るとか

四月十四日九星 舊三月十二日 辛巳 本命三碧 東 除 友引

▲三碧● 氣短く除物にされんとす 新事見合 坤の方は吉 ▲四綠● 隔分多き日 轉居入門 求職 建築 行商 婚禮 有價證券賣買吉 ▲五黄● 見込違ひ生ぜんとす 新事手控 は妨なし ▲六白● 女難口舌用心の日 新事手控 舊事は吉 買物に用心せらるべし ▲七赤● 平調の日なれども 新事控目の方吉 樹を植ゑるは吉 ▲八白● ぐれはまの事有日 新事手控 小兒衞生注意 ▲九紫● 大望成就の日 轉居 入學 命件 求職 造船 結婚 輸送 學藝吉 ▲一白● 擢數日 轉居 開業 學術 進で吉 女子は心美た關し立身た ▲二黒● 心もとなき事有日 新事手控 常の事は吉 婦人と交際を忌む

悲絕!! 壯絕!! 自己の病體を試驗に供す

肺癆の

血涙を揮て實驗の秘密眞相を告白す

余は嘗て險惡なる肺病に罹り咳嗽喀血發熱盜汗胸痛の如きあらゆる病苦に攻められ顏色蒼白、身神共に衰弱し燈火の將に滅せんとするが如き果敢なき運命であつたが各大家の療法も効顯がないので殆んど悲觀して居る時に鷄や鼈の黑燒を服めとか蝮などの生血や膽を食へとか甚だしきに至つては云ふに忍びない方法まで告げてくれた人さへあつた……然れども余の生家は醫家で余も又醫道の研究をなして居る者、時代の迷信療法を決して容赦にせなかつたが新醫學の光明が旭の山川を照すが如き現代に於て必ずや進歩せる學說の示す所に依り適切なる合理的療法を發見し得べしと確信し幸に余の專門醫二人の援助もあり一心不亂に研究してあらゆる實驗を試みたのである今日から顧みれば余は吾肉體を擧げて肺病療法の試驗に供したのであつた然るに最後に余の熱心に吸として得たる結核菌を撲滅せしむる確信ある奇劑を服用するに及んで空前の卓効が不思議な程著しく現はれ凡ての病苦も日每に減じ約三箇月で全治の狀態となつて今日では體重十八貫もあり人に羨まれる程强壯で愉快に幸福に活動して居る……我身を捻て人の痛さを知れとの譬の通り氏も又自己の病苦が身に泌みドウか溫かい同情を以て人助けがしたいと決心し其の後多くの同病者に實驗せしめて見ると其卓効誠に驚くべく已に數千人の患者を救濟し實に心嬉しく思つて居るのであるが一人でも多くの患者を救ひたい赤心より初期の患者も早く獨診斷が出來る樣又重患者も自宅療法で一日も速に病苦を免かれ復活幸福の日を指折り數へて期待し得らるゝ樣詳細なる說明書を作り希望者に頒ちつゝあるが學理と實驗の一致せる現代の最善療法にして濟生の恩惠多大なるより武勳赫々たる東鄕元帥を始め久我侯爵土方伯爵より光榮ある御染筆を賜ひ又多くの專門學者大家よりは實驗證明を得殊に其養生書は肺病全治の實驗談として余が熱誠血と涙との結晶であつて肺病、肋膜、氣管支患者は第一著に東京日本橋吳服町二番地安原尙親宛へ●ハガキ●にて御申込あれば無代寄送す善は急げ

實費分讓 目錄無代進呈

ダリヤ

京城西大門外竹添町二丁目 東京 千草園分園

質

京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入)

堀佐營業所 (電話六三九番)

男女衞生サック

品質最優秀軟柔にして使用上毫も遺憾なく恐るべき花柳病の傳染を絕對に豫防し得る衞生上最必要品なり ▲男用拾貳個四拾五錢廿四個八拾錢 ▲女用壹個七拾錢百個貳圓八拾錢 五拾個壹圓五拾錢特別上製壹圓(郵券代用必ず貳割增し)著金即刻送品

東京北品川町百五拾四番地 日新舘製劑部

りん病

消渴困る方で多年の慢性もの治る

自宅にて人知れず安全秘密に治る良藥あり只一劑を試用せよ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す

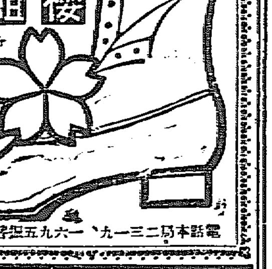
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

胃病新藥 マーゲン 胃腸病治療の新藥

大阪本町五丁目 田畑保樂房

特約店 京城南大門通二 新井藥房

櫻組製靴



定價表型錄 寸法用紙御申越次第進呈仕候

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地 合資會社 櫻組製靴部

電話本局二三一九、一六九五五、東京一六二五七

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは

美味滋養 蜂印香竄葡萄酒 の生命と眞價なり──▼■

凡そ常用者の忘るべからざる欣快は

■毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す

■毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く

斯くしてますく健康の人となる!!

東京日本橋本町 近藤利兵衞

世界の人氣は更に愈々 煉香油に集る ポマードに

本舗 東京 平尾賛平商店 ・ 關西代理店 大阪 平尾賛平支店

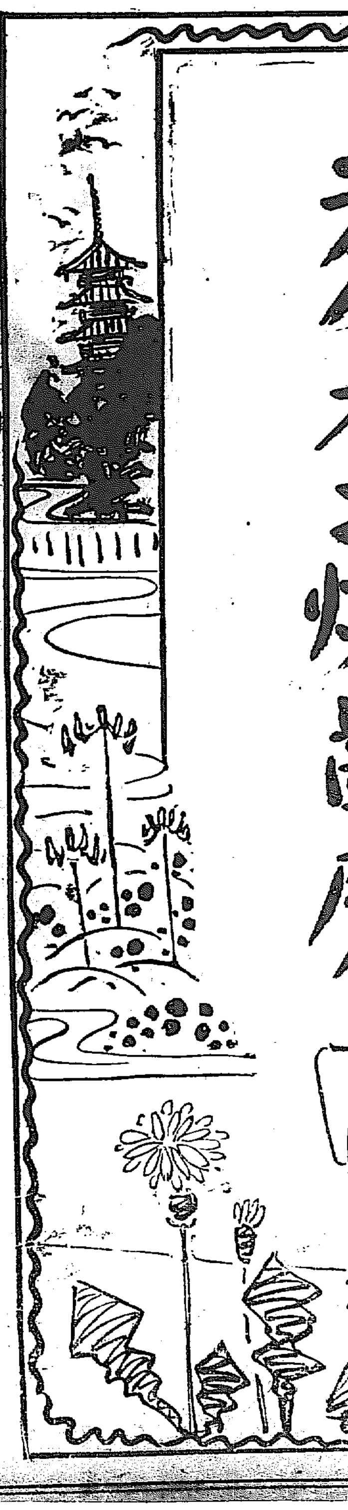
七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液 小壜二十錢 中壜四十錢

今東京で大評判の白美の元素 色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く美人と變る男子とも 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舗 松本藥店

花野を過ぎ、流れを渉る、春の旅路の樂しさ!

春の旅の道連れは、口に涼しく心を爽かにする

ライオン煉歯磨



ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎

(四−四)

汽車 京城 南行 北行

京城日報

第三版

大阪三品　十二日後場　四月限　一二八、八〇

東京期米

十三日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　[illegible]
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　巻口政五郎
太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
電話　[illegible]

朝鮮統治の綱領（一）

京城日報

毎年開催せらるゝ道長官會議に於ける總督の訓示は、朝鮮統治の大綱を示すものにして、當局施政の方針は、之に依て最も明確に發知するを得べし。同會議に於ける訓示は、地方長官に與へらるゝものなりと雖も、且又事毎年の例に屬すと雖も、然かも重要なる行政機關を通じて、統治政策が如何に實行せられんとするかを、吾人に公示する施政方針に外ならざるなり。

新政施行の當初より、毎年總督が道長官に與へたる訓示を仔細に通讀せんか。吾人は年所を重ぬるに從うて、朝鮮統治の綱領方針が、最初の根幹漸次枝葉を繁茂せしめ、疎より細に入つて、益々具體的となり、半島の施設經營は、益々其基礎を鞏固にし來れるを知らむ。必ずしも浩瀚なる大冊を俟たず、單に總督の訓示集を見るのみにして、吾人は最も完全なる統治史の精髓を究むるの感なくんばあらず。殊に本年の道長官會議は、始政五年の一期を劃して、所謂第二期の經營に移るの際に於ける會議たるが故に、之に對する今回の總督訓示は、彼の本年初頭に發せられたる諭告と共に、最も吾人の注目に値すべく、吾人玆に聊か此の訓示に對して感ずる所を述べむと欲す。

總督道般の訓示は、先づ昨秋開催せられし共進會の成績に始まり、其成績に對し、誤つて驕慢の心を起さば、將來の發達を挫折すべきを警め、小成に安せず、尚一層の努力を促がしたる後、年初諭告を與へたる所以を明かにし。次に財政の整理に關しては、經費節約の程度に輕重緩急あるべきを示し。貿易の趨勢順調なるを說いて、自作自給、進んでは海外輸出を慫慂し、地方長官の職權に言及して、更に行政制度及び其事務につき注意を與へ朝鮮人民に對する救恤の本旨は、一時の施與は抑も末にして、民衆の自覺を促し、自營の途に就かしむるに在りとし、勤儉力行の氣風を鼓吹し、恒産あり恒心ある良民たらしむるは、即ち赤子撫恤の聖旨に副ひ奉る所以なるを示して、貯蓄の奬勵に及び。教育機關の整備に關しては、一層之れが施設を進むるの方針を告げ、更に完全なる教育の効果を奏せん爲めに、教育者其人を得るの最も肝要なるを說いて、教化の本旨を明かにし。而して殖産興業の六目に入り、米作、蠶業、畜牛、森林、水產、鑛業等に亘りて、拓殖改善の方途を詳かに說示し。然る後に改めて明治神宮奉賛の事に關し、頌德記念の至誠を表せしむる爲めの要意を促がし、最後に官紀振肅の事に付警告する所あり。以上は總督訓示の骨子とする項目なり。之より必要なる事項に關し、吾人の觀る所を述べむとす。

隣邦時局の觀察（十一）

布施知足

廣西廣東湖南の三省は革命黨が當初から眼を著けてゐた所で之を起たせる爲には陰になり日向になり策士の活動は隨分激しいものであつた。廣西廣東は餘り氣乘りがしないながらに先づどうやら獨立を宣言したらしいが此樣なつては湖南の行動も大抵は推測の出來る次第で矢張り他省同樣獨立を宣言するか但しは立遲れてゐる中に全國の形勢にもう一度大變動が來て結局其新形勢の中に仲間入をするのであらう。之で革命黨の最初の計畫は先づ八分通り完成した事になるが此外に一つ革命黨の策士が今度の動亂の初から頻りに暗中飛躍を試みて而もまだ成功しない運動がある。それは則ち江蘇將軍の馮國璋と長江巡按使の張勳とを革命軍の側に立たせようとする運動で之が爲には昨年の十二月頃から革命黨の策士が頻りに上海南京の間を往復した形跡がある、其時分の支那電報を觀ると政府の內史監阮仲樞氏が盛んに北京南京間を往復してゐるが之れ即ち革命黨の馮張二將軍煽動運動に對する政府の牽制運動で此競爭では今迄の處政府の方が勝を占めて居たわけである。新聞には阮仲樞氏が馮張二氏を說いて明白に袁氏の味方たらしめんとし、而も其遊說は失敗に終つたやうに書いてあつたが我々の觀察では阮氏の使命は寧ろ革命黨が馮張二氏に對する運動を挫く爲で其遊說は決して失敗では無く却て成功であつたやうに思はれる、此阮氏といふのは嘗つて內史監即ち法令の文案を司る小さな役所の長官で且表面に立つて仕事をしないから其名も一般に知られてはゐないが其爲人思慮慎密で事に當つて奇策縱橫實に袁氏の智囊と謂はれてゐる人である。馮張二氏は其聲望兵力それに其地理上の位地から云ふと即ち中原に勢力を占めてゐる點から其去就は全體の形勢に影響する事寧ろ各省の去就に勝る事遙く、隨つて官革兩軍が此二將軍の爭奪引は當分の關係依然として止むまいと思はれるがそれと共に阮仲樞氏の名は馮張二氏に關聯して猶幾回か今後の新聞電報を賑はす事であらうと思ふ。そこで馮張二氏今後の態度はどうで有うと云ふと元來此二將軍は思想から觀ても閱歷から觀ても寧ろ舊派に屬する人で革命黨とは一向共鳴する點があるやうに思はれない。袁氏の帝制運動には多少の不平があつたらしいがそれも共和制を重んずる上から帝制に不平なのでは無くて寧ろ前淸皇室に對する情誼の上から袁氏が帝を稱するに不平なのである。二將軍が今の位地は袁氏に取て或は眼の上の疾瘤かも知れない、しかし革命黨が愈々袁氏を仆した曉には二將軍は矢張り革命黨から繼子扱ひせられるに相違ない、自分達がさう云ふ位地にある事は二將軍充分知り拔いてゐるに相違ないから無關係な傍觀者が豫期する程に明白な態度を二將軍が採り兼ねてゐるのも道理だと思はれる。詰り自分の手の中に在りながら天下の形勢を動かす鍵は愈々其鍵を開くまでにはもう少し周圍の機運が適引ならずそれを促がすやうにならなければならない、此意味で馮張二將軍の態度は全局の形勢に重大な關係があるものとして甚だ我々觀察者の興味を惹くと共に官革兩軍の策士がどの位二氏の周圍に出沒して其引込手段に苦心してゐるかを想像し得て餘ある次第である

（九）咸北の農業

東拓理事　村田俊彦　(34)

畜羊

羊の飼育は未だ朝鮮に行はれず。北鮮殊に咸北の地は之に適する如しと雖も、尚羊其者に付き試驗中の由なり。之を或大家に聞く、羊が果して北鮮に適するや否やは未だ斷言し難しと。羊にも山岳種丘陵種平原種あり。此等種類の中に又幾種の小品種あり。平原種の中メリノは嘗て濠太利亞に移されて成功し、又我國にも輸入せられ其毛頗る美なりと雖も、今日までの所にては斃れ易く、故に近年蒙古種を多く輸入されしが、是れまた斃るゝもの多かりしとのことなり。而して又之を聞く、其斃れしはヂストマ腹中に繁殖し、遂に羊體を斃へしめたるものにして、其のヂストマは蒙古に於ても是無きにあらず朝鮮にも亦是ありて、往々犢の腹中より之を發見することあり。目今之に對する策とし、羊を強健にし、以て彼害蟲をして爲す無きに至らしむる等、百方諸般の攻究を爲されつゝありと。吾人は其努力を多とし、且つ其結果の速かに發表され、而も朝鮮の主たる一業となり得る成績を以て發表さるゝに至らんことを切望す。羊の飼育が成ると成らざるとは我國家にとり重要なる問題なり。

○是れ務に其毛に就て云ふなり。羊毛の我國に輸入せらるゝもの明治三十六年度に於ては四十二萬五千餘圓なりしが、大正元年には三十七倍半餘の一千六百萬圓強となり、大正三年度には稍下りしも三十四倍弱の一千五百萬圓弱となれり。此外に絨毯類の輸入ありて其額明治二十六年度には百十三萬圓なりしが、大正二三年度には九倍して一千萬圓左右となれり。國民の富度進むに從ひ更に羊毛を要する多きに至らんや必せり。就中軍服軍布の如きは、必要中の必要なるものにして、一旦羊毛の輸入杜絕するあらんか、日用品を得られざるに至るのみならず軍事上にも關すること多大なるものあるべし。日用品は或は他の物を以て代用すべし、軍服に至りては代用成は困難なるべし。支那の兵士は綿入れの木綿製の洋服を著せるものありと雖も、吾人素人を以てするも此の如くして機敏なる働を爲し得るや否疑無き能はず。毛布は日露の役に於て民間より之を蒐集に寄贈して、其不足を補ひたることすら是ありき。

若し羊の飼育が幸に北鮮の一主業として營まれ得るに至らば、獨り非常の際に於ける供給を缺かしめざるのみならず、平時亦巨額の輸入を防止するを得、我經濟界の幸福少なからざるものあるべきなり。其孰れの途に於ても、今日の列國形勢の下にあつては、衣食[illegible]に必要なる貨物は國家としては其[illegible]地方たるを問はず、其領土內に於て少くとも先づ自作自給を爲すことを要し進んで他給にまで及ぼさしめざるべからず。前にも述べたる如く、獨逸の成功は實に此政策の樹立に基く、又當羊業を發達せしめんとせば、其肉に就ても考ふるところ無からざるべからず。我國人其臭を厭ひて羊肉を好まず。亦羊の生產經濟に於ける一障阻なり。羊毛の價は一時下落の大勢を示せしが近來又騰貴せり（續く）

咸南の進湖　村田旭伽筆——鞍安達城贊

大阪財界便り

△石油界の近況　內地石油は一般に燈油の需要著しく減退したるが外油會社の如きも本國市況は頗る強硬なるも內地油の賣行不振なるため自然外油も賣行惡しく何れも在庫停滯の不況を呈しつゝあるが輕油に至つては其海外其他より相當の注文ある由なるも日寶田にては製造不引合のため兩社外各石油會社より幾分の輸出をなしつゝあり揮發油は外品の暴騰により內地品は相當に賣行ありと

△海產物愈不振　昨今神戸港海產物市況は銀塊高の好影響を受けて依然として不引合の姿を保てるのみか目先き人氣の益々不良なると共に一般沈衰に傾かん形勢となりたり而して斯くて銀塊高に拘はらず人氣安を示せるかと云ふに海產物の最大需要地たる支那の擾亂を極めつゝある爲め支那商は金融の圓滑を缺き運れて取引澁滯を來し殊に廣東方面の混亂日に甚しきを加へ剩へ雨季に入りたる等旁々需要の起らざる結果支那商が殆ど一齊に買控へを爲せるに由るものにて斯くして市場の人氣は稀有の不良を示すに至りたり尤も昨今の買物は大體を通じて多からず即ち二番鷄の如き在外品殆どなく手持筋は買惜みつゝあるも何分直段は引緩み居れる等市況は沈衰と云ふの他なし尙秘前鷄の如き殆ど脫合の姿なるが是は支那商が革命亂を懸念して買進まざる爲にて右の外キゼナ並にヒスゴ等の取引も不振裡に經過しつゝありと

△莫大小業前途　本邦の莫大小業は戰亂の結果非常の發展を遂げ印度方面は勿論濠洲英國佛國等よりの需要亦尠からざる狀態なり而して本年は例年と異り各方面より有利の註文ある爲め印度向の如き廉價の粗製品を閑却するの傾向あれば輸出額は幾分減少を見る可きも一方に於ては印度物に對し競爭の結果粗製濫造の弊を助長し來れるが同業界の殷盛なる爲め斯くの如き弊風は漸次減少しつゝあれば對印貿易に對しては却つて好影響を齎らす可し又一般には戰後印度濠洲等に於ける本邦莫大小は再び歐洲品に壓倒さる可しと觀測され居れるが當業者は勞銀の低廉と運賃關係等より歐洲品に驅逐さるゝが如き事萬無しと樂觀し居れり左れど此の際歐洲物を重視して印度物を閑却するが如き事あらば既得の地盤を漸次喪失し戰後再び歐洲品に驅逐されざるを保す可らずと當業者一部には前途を悲觀し居れり

△鮮穀運賃引上　大阪商船、日本郵船、互光商會の三船會社協議の上朝鮮東北沿岸釜山、元山、西湖、新浦、城津、淸津各港より內地へ輸送する穀物運賃は四月二十日より二割方引上る事に決定せり（大阪支局）

△後場跳ね返す　[illegible]

△大豆　[illegible]

△砂糖　[illegible]

京日詩壇

○忘機吟社龍年發會分韻得寒　古城　梅溪

一陽來復不知寒。月送淸光入檻端。淺酌低吟無限興。臥看梅影臥龍蟠。

評曰　正見醉興淋漓之狀

○同上得豪　高田　小芥

爭珠群爪激雲濤。誰上龍門又躍鼇。三十六鱗飛躍末。胡髯長引鼎湖號。

評曰　才思奔湧、筆勢快迅、嗚則驚人者乃是、

日報歌壇

□蘇るもの　京城　萬里子

築きたる人なき國の我が城に君としあれば罪とやのたまふ
我が胸の金の扉ゆ銀の權威の鍵にのみぞ開かむ
かにかくに夢の樣なる美しき世にあらばと靜戀ひわたる
いつとなく大野の果の風寒き雪つむ中によみがへるもの

至廉至便の國民百科辭典

大正五年 國民年鑑

（民友社發行）

四六版壹千頁　並製五十錢　上製壹圓　郵稅各十二錢

一千頁五十錢の圖書ありや

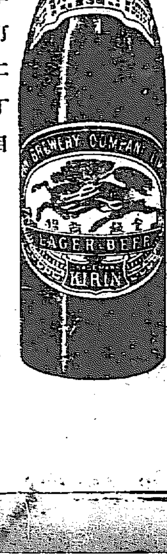
紙價の暴騰は印刷料の値上げとなり、遂に出版界は既刊書籍の二割增しを決議せり。されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんこす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の實益無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰こ、印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど國民年鑑は暫く此の恐慌に影響さるゝことなく、普く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是本社が本書各種の原料を事前に仕入し置けるが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上斷行の已むなきに至るやも計られず。値上の厄に逢はざる內至急御註文あらんことを切望す

大取次所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

時代向上の趨勢は

愈品質優秀なるビールを要求す!!

之に滿足を與ふべき製品は常に精殊なる原料と巧妙なる釀造法に依り卓越の定評ある吾がキリンビールあるのみ



キリンビール發賣元　京城本町二丁目　明治屋京城支店

最上醬油

特許機械製　ほまれ味噌

絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於始政五年朝鮮物產共進會

金牌受領

釀造元　仁川港　日本醬油株式會社　電話七五一番　振替京城一七四番

京城出張所　電話二四五番　振替京城五二三番

日本の調停を切望

雲南所報電に曰く袁總統は廣東省獨立以來衷心より日本の調停を希望するに至り昨今其の親近者に對して此の際日本が支那の領土保全主義を冒さゞるを前提として調停の勞を採らるゝに於ては解決の方法は日本の自由に委すべしと語れりと(東京特電)

袁總統退職の意無し

ガゼット紙は報じて曰く南北妥協につき近く四川に向ふべき將軍府贊軍范緒爽は十日袁總統に謁見せり其の際總統の曰く南方が再三予の退職を要求すれども退職せざるは若し予が一日なくんば國家滅亡せん之れ忍びざる處なり外交多事の今日に於てをや方に外侮を受くるを思ふべしと而して退職の意なきを明示せりと(北京特電)

北方妥協計畫順序

總統府の消息に依れば南方は臨時政府組織に關し之れが地點に就き意見一致せざるものゝ如し尚北京政府は南方との妥協に就ては先づ蔡鍔をして此の間に妥協を爲し漸次廣西廣東に及ぶ方針にて政府は蔡鍔に對し彼れに將來の政府を監督せしめ同時に實力を與ふるを條件として妥協成立を期しつゝあり(北京特電)

四川省亦近く獨立?

四川成都の人心甚しく動搖し遠からず獨立するに至るべしとの報あり(北京特電)

三日間に渉る激戰

獨軍燃燒液體物を用ひて攻擊

巴里來電に據れば獨軍はミューズ河東方に於て燃燒液體物を用ひて三回の攻擊を行ひ來りたるも成功せず翌二日獨軍は二個師團以上の兵力を以て再びドーモン、ヴォーの佛軍戰線に對し攻勢を執り來り佛軍第一線の守兵を擊攘して森林に侵入したりされども三日佛軍は美事なる攻擊を行ひヴォー村落の西部を奪回し敵軍をカイレッテ森林の北端及びヴォーの北方に擊退したり尙佛軍はドーモン堡の西方南方の連絡斷壕に於て爆彈戰を行ひつゝ前進し敵の逆襲盛なるに拘らず我戰線は完全に保持されたり四日獨逸の公報は三日の出來事に就き一言も言及する所無かりしが要するに同日の戰鬪は總て佛軍に有利なりき(倫敦電報)

尼國條約批准

運河開鑿援外一件

華盛頓來電に曰くニガラガ國議會は三百萬弗の支拂を受け米國に運河開鑿權及び石炭供給所設置權を附與する條約に批准を與へたり(紐育電報)

軌制調查會規則

大隈首相は軌制調查會委員長の資格を以て添田副會長以下の委員を十二日午前十一時三十分永田町官邸に召集し同會設立並に軌制調查の方針に關する一場の訓示演說を爲し添田副會長の答辭あり其れより調查會議事規則を附議したるが第二回よりは鐵道院に於て毎週一回開會さるべく事務所は既に內閣に設置されたり(東京特電)

乃木神社創建

故乃木將軍の別莊地たりし栃木縣下石橋へ驛社乃木神社を創建すべく大正二年以來本殿拜殿等建設中なりしが十一日竣工したるを以て十二日玉木少佐邸內なる故將軍の靈社を玉木少佐附添神體を張りたる列車內に移し午後九時三十分上野驛發同夜八時下石橋著と共に鎮座式を行ひ十三日盛大なる祭典を執行する由(東京特電)

警務總長

十二日任命發表

十二日左の通り任命ありたり(東京電報)

陸軍少將朝鮮駐劄軍參謀長正五位勳三等功三級 古海嚴潮

任朝鮮總督府警務總長

獨軍必死の攻擊

獨軍が開戰以來の大活躍

成功せざりし際非常の損害を蒙りしは事實なり九日獨軍の攻擊はヴェルダン戰開始以來始めて行はれたる一般的攻勢にして……

鑛業出願(前承)

慶尚北道榮川郡 [illegible]

政務總監東上

山縣政務總監は目下小田原古稀庵に滯在中なる山縣元帥病氣の報に接し遠藤秘書官眞鍋山田兩囑を隨へ十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて急遽東上の途に就きたるが聞く所に依れば同元帥には十一日突然發熱せしも翌十二日午前に至りて漸く降下したる由因に同元帥の病狀を重態の如く傳ふる向きあるも右に決して重態にはあらずと

黃海道の獻穀者

本年朝鮮よりする新嘗祭の獻穀精粟は黃海道に決定し道廳にて其の栽培者を詮衡中の所今回海州郡草林面の篤農家吳昌淑氏に確定したるが同氏は此の光榮ある恩命に接し欣喜措く能はず直ちに土地の選定を終了せり同氏の嚴父は經學院講師吳獻泳氏にして碩儒なり

羅州平野と東拓

東洋拓殖會社にては全南羅州平野の一部に灌漑施工の計畫なるが其內容を聞くに舊宮三面中の細枝面耕地七千斗落中の約三百町歩には榮山江の水を喞筒にて引揚げ之れを溜池に貯水の上給水し又良谷面旺谷面の耕地四百町歩には榮山江の水を引き用水路を設け灌漑施設をなす筈なりと而して目下の所右耕地は殆んど旱水田及び畑にて稻作の如き一に降雨の適順なると否とに左右されつゝあるに付工事の完成後同平野の受くる利益は甚大ならんと

朝郵と時價保險

朝鮮郵船會社の所有船舶に鐵船木船あり春來船舶の暴騰を以て其の新舊を問はず騰貴せざるに全部昨年以前乃ち船價の暴騰せざる時代に船舶保險を附し居れるが昨今は暴騰して現在に於ては同社の保險料は之れに比較して五割內外の騰貴をなし居れるも同社の船舶は何れも朝鮮沿岸を航路として其の切替へをなし居らず會社は目下戰時とは云へ朝郵社船の航行區域は絕對安全なりと稱し得べく無論火災等の爲め其の損害を蒙るが如きは先づ絕無と稱し得べきも船舶が若くば暗礁に觸れ其の針路を誤まるが如き事件の萬一にも發生せば會社は目下の契約を以て其の補充をなすは到底不可能の事情にあり然るに保險金の受領を以て其の補充をなす時價保險契約問題昨年來會社局の間に起り特別積立金を設けつゝあるが近く比較的危險の現れ多き木船より順次時價保險を附し以て鐵船に及ぼす計畫なりと云ふ但し其の保險料は鐵船三分二厘木船は七分と云ふ高率に付會社の負擔は輕からずと

戰前及び戰後の歐洲

法學博士 吉野作造氏談

東京帝國大學教授吉野博士が本社主催講演會に於て二時間に渉り講話をした所の極めて概要を本紙上に紹介する

▽平等。自由。祖國

戰前に於ける歐洲の國際政局殊に外交の中心と爲つて居つた國は獨逸であつた、其故は獨逸が必ずしも歐洲列强中最强國で他國に比し嶄然頭角を顯はしてゐたと云ふ意味では無い無論强國には違ひ無かつたけれど、最强國とし許すには矢張り英國を推さねばなるまい、鮮くも識者は英の强大を恐れ、殊に獨は此大戰に英の參加を豫想せず、其參加を聞いて鮮くも一日は獨逸國民は色を失つて愁いた、元來獨逸は狹義の國家主義的敎育を基としてゐるから、自らを世界中最も强國と思つてゐた、然し本來はさうではない。一體獨逸は國民敎育の統一的中心には非常に苦心したものだ。日本などにすれば皇室と云ふものがあつて、天皇は國家の中心と爲り何事と雖も皇室を中心とし得るけれども、獨逸皇帝では必ずしも獨逸聯邦の中心とは成り得ない、佛蘭西に行くと總ての中心を『平等』に置いてゐること、恰も英吉利の『自由』の如くである、斯の如く獨逸では國民統一の中心たらしむべく『祖國』と云ふ觀念を以て獨逸國民に統一の中心を置いた故に獨逸國が萬國無比の國體なる事を說き、其民には愛國心が盛んである。然し決して忠君の觀念は滅んではない。獨逸が國民をして自國を最强國にして祖國の最も光輝あつた事を知らしむる爲めには、史實さへも敢て枉げてゐる。例へば小學校の敎科書などを見ると、十九世紀の歐洲を記すに國際的關係から奈翁を憎むの餘り『奈翁は偉大なる人物にはあれど私慾の爲に歐洲列國に慘禍を蒙らせたり』と云ふ風に書き『フデリック大王は國家の爲めに戰爭を起す』と云ふ風に對照させたりして居る。英國には『グラッドストーン』『ビーコンスフィールド』など云ふ人物がゐた事は記してあるけれど、一代の英傑はフレデリック大王乃至はビスマルク、モルトケを擧げてゐる樣な有樣である。國歌の初めにも『獨逸國々々』と稱して『獨逸國』としてある。其樣子は餘程日本とよく似た處がある。然し又最近ロールバッハの著しき『帝國主義』の中などにも頻に獨逸國民が英國研究を疎かにしてゐる事を痛論し、斯の如くんば遂に或る時合に於て國際競爭に於て英を凌駕する事を得ずと歎じてゐる、即ち獨逸でも識者は此邊に留意してはゐる。

▽戰爭と武器

今次の戰爭で露國は頻に敗れ佛國も更に進展し得ない程獨逸に窘迫せられてゐるけれども必ずしも左樣でない。露西亞には敎育制度社會制度の缺陷はあるにはあるが今回の戰爭に於て捗々しい成績を見得ないのは第一に武器の缺陷にある。昨年五六月頃露西亞が頻りに負けて居る時、或る師團の如きは小銃が僅に二千挺の外無かつたと云ふ事である。是れでは手に空手の戰爭で空手の十萬人が武裝した二三千の兵に捕虜に爲つたなど云ふのは全く無理の無い事である。一體武器の不足は獨り露西亞のみに限らず、獨逸でも餘り豐富ではないと思ふ。今度の戰爭程豫想を打破してゐるものはない。殊に武器が其の位要るかなどと云ふ事は、總て豫想を超えてゐる。然し其內でも矢張り露西亞が一番缺乏して居る。元來武器は殆ど改良されてゐるものは無い。武器の改良と云へば短時間に數多い銃丸を打つと云ふ事になるが、昔佛戰爭時代即ち四五十年前には、一時間に二十發位しか打てなかつたものだが、今日の機關銃は一分間五百發から打つ。隨つて火藥が餘計要る。此次には澤山準備して置いて戰しようと期し乍ら、戰爭が始まれば乾度豫想が外れる。日本なども日淸戰爭に鑑み日露戰爭の時には餘程此點に注意してゐた相だが、南山の攻擊には一年分の準備を總て使つて終つたと云ふ事だが、露西亞戰爭など殊に此觀があつた、今度のなど寧ろ準備が無かつたのだ。無論是れには政治上の缺陷もあつたが日露戰役後の經營不充分であつた爲めに大に間誤ついた、即ち露西亞の今迄負けた事は準備が充分に出來てゐなかつたからの事で、決して其れは輕蔑されない。

▽國民性と軍隊

佛蘭西には又特別の理由がある。個人として見れば佛人は決して獨人より劣つてゐるとは言へない。然し政治上の缺點があつた。言ふ迄も無く佛蘭西は共和政體である。而して政府顚覆陰謀者が盛んに出現する。其の主謀者の殆んど總てが軍人である。一體共和政治に一番敵なのは軍隊である。其苦い經驗は佛蘭西では第三共和制建設以來幾度となく嘗めて來た其經驗に依つて軍隊を制へる必要を悟つて來た。然も隣國獨逸は頻りに軍備を擴張する。然も佛蘭西なるもの之れに對抗しても鑑に軍備擴張を爲らねばならないのだけれど、餘り軍隊に重きを措けば今の政府顚覆の陰謀など起つて來るので、政府は獨逸と軍隊との間に板挾みとなつて頗る苦しんだものだ。一方軍隊側から見れば、爲事政府からの制肘を受けて敏活な行動が執れない。如何に國情とは言ひ乍ら、實に遺憾の至りである。今後は大に改良せられるであらうが、鮮くも今迄は右の如き有樣であつた。隨つて佛の軍隊が現狀の樣な仕末なのである。

國境地形測量

臨時土地調查局に於ける全道の地形測量は既に約三分の一を終了し大正七年度を以て全部完濟の筈なるが本年は平北楚山より咸北慶興郡に至る鴨綠江及び豆滿江沿岸國境の測定を進むる中 其の區間に於て稍境界の豆滿江の水流と深く興の山系と往年淸韓時代に建立せし定界碑等の關係は同附近の所屬を明示し居らざるが諸細なる測量によりて本年中に解決すべく白頭山附近へは數日中第一測量班松田監査官一行出發の筈

慶北の重石鑛

近來朝鮮に於ける重石熱旺にして到る處好景氣を呈しつゝあるも是が本場は忠淸江原道の如く思はれゐたるに慶尚北道にても弗々重石及び輝水鉛鑛の發見されつゝありて榮州郡豐基面金溪洞にては三月初旬京城の松本詮吉氏が發見し目下東京高田商會之を經營し鮮夫百餘人を使用し採掘し居れり此他醴泉地方に發見され殊に金泉郡南面扶桑洞にては輝水鉛鑛の發見されたるあり鑛區約三十萬坪にして京城の和田彥一氏鑛主となり之を經營し居り何れも有望なりと稱せらる(大邱)

朝商臨時總會

朝鮮商業銀行にては十一日臨時株主總會を開催し東大門派出所を出張所に昇格せしむる件に付附議し原案を可決し

出獄人保護會移轉

京城の出獄人保護會は目下授恩洞にあるも狹隘にして不便に付近く阿峴に移轉する事となり既に敷地は同會にて國有地の拂下げを受け三千餘圓を投じ新築する由なるが昨年中同會の事務成績は前年よりの越員三十人新保護人員百十二人保護を解きしもの……者三八年末現在組九人なりしと

◉金提軌道監査役選任 過般開催せる金提軌道會社役員臨時株主總會に於て同會社の監査役に稗田又助、趙鎮誠、金英杰の三氏を選任せりと

◉東拓株主名義變更停止 東洋拓殖會社にては來る二十九日より五月の定時株主總會終了迄同社株券の名義變更を停止したり

人事消息

▲鈴木隆氏(慶尚北道長官) 十三日朝出任の筈

▲宮川五郎三郎氏(京城電氣會社長) 十二日夜入京旭町尾張館へ

▲井村晉四郎氏(江原道技師) 同上

▲阿部安慶氏(京畿道技師) 同上

▲ロビンソン氏(米人) 朝鮮ホテルへ

南言北語

先日或所で名士が四五人集つて大分氣焰を吐て居る內▲某氏が得意になつて或る雜誌に世界的大外交家たらんものは先づ英のグレー卿夫人に接近して其の意を得るほど▲外交界に於ける同夫人の勢力は大したものだと書いてあると挽し立てた▲一同も大に感心して聽て居たが奚ぞ知らんグレー夫人は最う十年も以前に逝去して居る▲之れ[illegible]吹くものも吹いたものだが聽く者も聽く者で人笑はせだ▲之れも或る所での話だが砲臺堡壘等を引つくるめて要塞と云ふ舊式な言葉を使ふ連中は何れも六七十歲の老人▲次に砲臺堡壘の區別を立てず一途に砲臺と云ふのは中老人▲能く區別を立てゝ云ふのは若手である單に言葉丈けでも其の人と年代が分ると云つて或る程鳥渡面白い▲一木內相と云へば宴會の席でも最眞目で構いて居るやら浮て居るやら一構分らぬから屢々茶目公間の問題になる▲其處で或茶目公が內相を評して快々として樂む、はチト皮肉な惡口だが京城の宴會などで快々として樂む連中が何人あるのだらう▲と、云ふのも亦皮肉かも知れぬ▲漢堡汽船會社のルリンと云ふ男は▲人々が自分の爲に就職廿五周年の祝賀會を開くと云ふ事を聞くと▲其樣な事をせられては却て面目ない顏を見らるゝのも恥かしいと云つて▲一週間も前からヨットに乘つて何處かへ姿を隱した相な▲オイ〳〵穴へでも這入りたい手合が其處等にウヨ〳〵して居るではないか

謹告

我社主催吉野博士講演會は豫期以上の盛況を呈し開會時刻以前に於て既に滿員を告げ多數來會の諸君に對して餘儀なく入場を謝絕するに至りたるは會場の設備萬端不行届なりしとは甚だ遺憾とする所にして玆に謹んで御斷り致候 敬具

京城日報社

御申込往復はがき二錢
錄大正鑑獄 進呈
東京神田區表猿樂町二十三番地 和洋樂器店 名倉幸之助

勤王小說
瑠璃園著 中山大納言
新年英語一前編新刊後編近刊 非木版極彩色裝 菊版 各九拾錢小包八錢 美本 挿畫入
東京朝日新聞連載
尊號事件起りて徳川幕府の專橫を憤り君國の爲め一身を捧げて柳營第一の智者越中守と大問答の我中山大納言の忠烈を描きたる一大小說也
東京 大阪 本屋 大阪屋號 振替東京二五七三 電話本局二〇八六

齒科 橋本齒科醫院
京城南山町三丁目(京城電氣會社横入る)
電話二九二〇番
齒科醫學士 橋本清次郎

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、洗濯石鹼、工業用、家庭用石鹼、椰子油、鯨油、其他牛脂、油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二九七四〇番 振替口座京城四〇〇番

鑛山用測量器諸器械 京城本町 シノサキ

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店
電話一〇九番 振替京城六一九番

國產獎勵と朝鮮牛
▲見落す勿れ畜產業農業界▼
朝鮮牛の特徵
▲性質温順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に队するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを要せしむる必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸所の家畜界の一大福音として賞讚せらるゝに依る
▲之れ農家畜產界の輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり
▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候
活牛問屋移出 上杉古太郎商店
釜山鎭驛前
電話一〇三七番

日韓書房
新版報告
清水書店發行 日本六法全書 各種新刊著 定價三拾五錢 送料四錢
同 憲法要覽 定價三拾五錢 送料四錢
同 行政法要覽 定價三拾五錢 送料四錢
同 民法要覽 自一至四卷 定價三拾五錢 送料四錢
同 商法要覽 一二三卷 定價三拾五錢 送料四錢
京城本町二丁目 電話二二七番 振替口座一四五番

內科胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 石川淳夫
電話二七二番

……十日午後發表……力を爲したる場合には何等賞……されたる……軍は夜間砲撃を續け特にデッドマン、ヒル、死人山）に對して最も力を注ぎたり九日獨軍がデッドマン、ヒルを攻撃して……甚だ大なりしは死屍及び遺棄品の……狀に見ても明かなり（倫敦電報）

□本社主催講演會（右）會場內の聽衆（左上）壇上の吉野博士（左下）屋外に溢れたる聽衆

●聽衆三千堂に溢る
―我社主催吉野博士講演會―

我社主催の吉野博士講演會は十二日午後四時三十分より南山町高等女學校講堂に於て開かれたり演題「戰前及び戰後の歐洲」の下に近代に於ける歐洲外交の中心が獨逸帝國の統一以來漸次

▲**佛蘭西を去て** 獨逸に移りたる事、及び獨逸軍國主義の出來、カイゼルの世界政策より延いて英國の覺醒となり、此の間に於ける三國同盟及び三國協商の對立關係さ、伊太利の去就が同盟及び協商諸國に及ぼしたる壇調より戰亂の遠因を谿したる事及び戰亂終局並に勝敗の豫想

▲**戰後に於ける** 軍國主義と平和主義の運命、及び我日本の國際的地位等を講演せり總て博士が造詣深き事は遍く知れ渡り殊に現下に於ける世界の大問題に對する最も興味ある解説なりしを以て午後二時三十分頃より會場に

▲**詰め掛け定刻** 四時三十分に至りては流石に廣き講堂も立錐の餘地なきに至り猶壇敷枚を前方演壇の下に敷きて後れ來れる聽衆を容れ其の餘は左右の窓外に塡塡して室內忽ち滿開きに至り午後四時四十分止むなく滿員に付き入場謝絕の掲示を出せり定刻を過ぐる五分にして阿部本社長は開會の辭を述べて博士を紹介し次で吉野博士はモーニングコートを著し滿滿たる風采にて壇上に現れ講演二時間聽衆は時に擢然として

▲**國際間の權謀** 術數の圖り難きに驚き、時に襟を正して獨逸の社會組織の鞏固なるを賞し或は博士の輕妙なる諧謔に腹を抱へたれど滿場極めて靜粛に堂內の秩序整然として些の混雜なく午後六時五十分博士は萬雷の如き拍手に送られて降壇し閉會したり

●巨濟丸加德島にて坐洲
乘客積荷共無事

朝鮮郵船會社麗水線の就航汽船巨濟丸（一五二噸四）は十日午後一時の定時に乘客二十四名及び郵便物並に貨物を搭載し

▲**麗水に向け** 出帆したるが同日午後加德島內水道小石松と稱する箇所（鎭海平浦近約四浬）にて坐洲したる旨十一日朝に至り本社に通知ありたれば釜山支店より救助の爲め同日午前十時半汽船寶城丸、同正午成歡丸を急航せしめたるが遭難の

▲**原因は濃霧** の爲め針路を誤りたるもの、如し而して遭難地の海底は泥土にして水深は干潮時六呎滿潮時九呎なれば同船の如き吃水淺きものは滿潮時に於て浮上るならんとの事なるが乘客は勿論郵便物、貨物及び船體には些の損害なく滿潮時に離洲せば引續き續航すべく萬一離洲せざる樣の事あらば乘客は寶城丸に移乘せしめ又貨物は他の汽船に積み換へ其々目的地へ輸送すべしと（釜山）

●煖かく爲つた
櫻は本月下旬

二三日前の珍らしい大雨と大風の後京城の天地はすつかり春の天候となつた、もう野山の木の芽も餘程ふくらむで來たし

▲**獎忠壇の連翹** もいよく綻び掛けた、十二日朝は四度二分の氣温、これを昨年の七度七分と例年の平均温度四度八分に比較すれば先づ平年より二三分方寒いやうである朝鮮全體から云へば概して東海岸が暖かく各地共氷點以上の温度である高氣壓は今日本內地方面に去り一方支那大陸の內部に當つて

▲**深い低氣壓が** 現はれて居る、併しこれは北部滿洲を過ぎて朝鮮には何等の影響を齎らすまい、此の陽氣では牛耳洞の櫻も四月の下旬から咲き出して例年と餘り大差無からうと思ふが現に角鼓暫くの間は時候の變り目の現象として時々花を誘ふ春雨が降るであらう（京城測候所員談）

●寺院を襲ひし四人組の賊

本年二月二十三日京畿道楊州郡別內面佛岩寺並に三月五日同面興國寺の兩寺に侵入し住職を脅迫して金品を強奪して逃走したる賊あり所轄憲兵所にては其後犯人嚴探中の所此程犯人なる楊州郡蘆海面道峰里大竺寺の僧侶金流泉（三十）京城禮智洞洪淳喆（二三）楊州郡郡內面佛谷里僧侶李光淳（三五）同里僧侶李福惡（三二）等を引致して取調べたるに前記の強盜は全く同人等の仕業と判明した

●降つて來た災難
牛に追はれて下水に墜落

京城苑南洞尹玉山妻李召史（三六）は八日午後五時半頃崇仁洞の路上を通行中前方より京畿道楊州郡廣積面開居里李忠漢なるものが一頭の牛に松葉を背負はせて來りたる處へ電車が疾驅し來りたるより其の音響に驚きて牛は逸走し初めたれば李は之を避けんとし誤つて路傍の下水溝に墜落し右手を挫折し治療一箇月を要する創傷及び頭部に打撲傷を負ひたる騷ぎに鍾路署より警官出張檢視の上李忠漢より治療費を支出することゝなりて示談事濟み同女は總督府醫院に入院加療中

●斷食して山野を徘徊す

京畿道水原郡安龍面谷津亭里朴南陽（一二）は四年程前より精神病に罹り他人に面接するを恐れ常に自宅に蟄居し居たる所四月二日家人の隙に乘じて家出し山野を徘徊し數日間斷食の結果疲勞と飢餓とに迫り遂に同郡臺章面遠川里卸山谷の畑中に死亡し居るを八日午前發見し屆出でたるものあり水原署より係官出張檢視の上屍體は實父朴鉉鐵に引渡せり

●脚を折つて慘死

京畿道富川郡多朱面道禾里洪錦萬（六三）の居宅は建物腐朽の爲め崩壞の虞れあるより注意中去る九日の大雨に際し俄かに温突の一と間崩壞したるより家人は逸早く屋外に避難したるも同人は逃げ後れ兩脚を折つて無慘の最後を遂げたるが急報に接し仁川署より警官出張檢視の上屍體は家人に引渡したり

●鷗外博士愈引退か
專念飜譯に沒頭せん

正四位勳二等功三級陸軍々醫總監醫學博士文學博士にして現に陸軍省醫務局長たる鷗外森林太郎氏（五七）は豫て噂されし如く愈々近く開かるゝ可き軍醫部長會議の第一日を俟つて公然辭意を發表す可しと云ふ後任は第一師團軍醫部長たる鶴田禎二郎氏なる可く傳へらるゝ之れと同時に全國の軍醫部長にも多少の更迭あるやに聞けるが博士今回の辭意は後進の進路を開かんとするにあり退職後は千葉縣房州なる別墅に韜晦して專念飜譯に沒頭す可しとの取沙汰なり

都市美觀と京城將來の建築
中村與資平氏談

都市の美觀と云ふ方面から見ても又經濟的見地からしても同じ材料を用ひ同じ樣式に由る建築が望ましい事は前に述べた如くであるが兎角日本人は妙な處に意地を張つて彼奴が煉瓦の二階建てだから乃公は石造三階にしなければならぬと云ふ、しかし力の及ばぬ者は隣が煉瓦建にしたから此方では木造の純日本式にしやうと云ふ樣な無用の意地を張る傾向があるが其處に行くと

獨逸人は 非常に感心すべき共同一致と云ふ事が斯んな建築の上にまで現はれて居る青島に於ける建物の如きは壁の色屋根の塗色まで同樣である處から市街が如何にも整然として美しい其の建物の一つ一つに就て見ると何等の奇もなければ雄大な處も無いが市街としては實に立派なものである之れに反して哈爾賓に於ける露國の市街建築は其の個々から見ると

實に壯麗 の建物が有るが其の大小の差が甚だしいから市街としては餘り立派ではない凡て都會の建物は出來得る限り統一されて同じ大さ同じ樣式の建物ばかりにして其間に二三の高大なる大建築物が在つて平凡を破つてさへ居ればそれで好い斯う云ふ方面から見て

京城將來 の建物は何う云ふ風にしたら好いかと云ふと勿論前に云つた通り事情の許す限り同じ樣式に統一される事と氣候習慣等の關係より日、洋、鮮を組合したものが必要である即ち外形は都會として最も適當にして且つ耐久力の強い煉瓦建とし內部は事務を取る西洋室と寒氣を凌ぐ爲めに

朝鮮風の 溫突も必要であり又吾々が長い間の遺傳的習性の爲めに日本座敷も作つて置く必要がある要するに內容は各人各個の注文が在るとしても外形は何處までも都市を中心として

統一され たものでなければならぬ而して何處までも同じ樣に打ち續いた市街に處々宏壯な建物が適當に布置されて居る樣にしたいものである（終）

●セルの季節が來た
▽新流行の縞柄と色合

袷のお支度が濟むと、直にネルとセルの季節が參ります。若葉の緑がいよく深くなる頃、夕方の散歩などにお召になるには

△**着心地の良い** 點に於て之に越すものは有りません。この節はセルを內地で充分出來るやうになりましたから縞柄や色合を見ても本向きに出來て、セルにはお召セルのが出來てゐますけれど、お召セル、クレップセル、羽生セルなど云ふクレップセルはあまりためによくないと云ふので、やゝすたれ氣味です。爲めもよく、著心地も良いのは矢張純セルの一疋で、値段は八圓五十錢位のから十一圓止りです。羽生セルは七圓五十錢位ですが、普通のセルより

△**稍地が薄い恨** があります

縞柄はセルのためにと特別なものはなくて年々の流行物と色も柄も共に性と同じで、今年は霜降り地に複雜な立縞が多う御座います。またネルの縞柄は大人物では大抵セルに似寄つてゐますが、子供物には今年流行の色を取ませた新しい縞柄が可也澤山見受けられます。値段は派手なもので一尺四十錢から五十錢、普通物では一反五圓八十錢から六圓迄です

●一年目に捕はる

昨年四月四日夜釜山土城町二丁目十八番地酒造業上田勘兵衞方に忍び入り倉庫の南隅を切り衣類二十六點價格百八十餘圓を窃取し何れにか逃走したる賊ありしが釜山署にては其後極力犯人搜査中間もなく同家雇人通稱矢島鶴吉事崔相龍の（二〇）の姿見えざるより其筋にては或は同人の所爲にはあらざるやと目星を附け居りしに一箇年に達したる本月三日夜同人は魚津灣口酒店に雇はれ居ることを判明し逮捕して取調べたるに全く同人の所爲と判明し尙ほ餘罪ある見込にて引續き取調中

●不敵の短銃強盜

慶北醴泉郡虎鳴面白松洞居住の兩班李東植方へ去る三日の午後八時頃鳥打帽子を被りたる三人の男が表門より闖入し折柄入口の室に居りし六歲の子供を捉へ父は居るかと聞き居りし所用のため外出中なりし李が歸り來りしより件の三人の男は李を押へ汝は自衞團を組織して日夜洞內を警戒し我々の仕事に妨害を加ふるものなりと稱して中の二人は李の兩手を押へ他の一人は隱し持ちたる短銃を取り出し李の胸を射撃したりこの銃聲に家人が驚き現場に驅けつけしが早くも家人の立ち騷ぐを知つて三人は何れにか立ち去り姿を隱くしたるが一方射撃されたる李は胴體を貫通の銃創を受け翌日午前十時遂に絕命したり件の三人は多分食品を強奪せんとしたるものなるべく同地憲兵分隊は強盜殺人犯人として目下各所に手配し犯人の搜査中

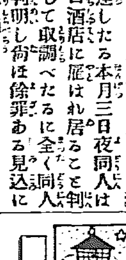
●全州郡の火事

去る六日午後十時五十分頃全北全州郡龍進面下二里與李壹瑞方より發火翌七日午前二時三十分頃まで延燒し住家一戶一棟の外物置其他二棟を燒失し漸やく鎭火したるが發火の原因は卷煙草の吸殼が藁に燃え移り發火したるものにして損害價格は七百六十二圓餘也

●強盜は懲役十年

全北南原郡朱川面東松里生れ金順在（三〇）金順七（三七）同面沙村里張宗烈（三八）同林化汝（三一）金太亨（二八）の五名は共謀の上去る大正三年一月以來何れも鐵棒及び庖丁等を携へ郡內を橫行し十數個所に於て強盜を働きたること發覺全州法院支廳の公判に附せられ八日何れも懲役十年に處せらる旨言渡されたり

□倶樂部めぐり



▲西大門倶樂部

學務局長の關屋さんを首めとして京龍官公立の學校に籍を置く敎育家、學務當局者三百名で組織された西大門倶樂部は西大門小學校に隣る元の

=佛蘭西公使館跡=

にある、稍古色を帶びてはゐるけれどもその建物設備等は贅澤と思はれる位完備した倶樂部だ、流石に敎育家の倶樂部丈に廊下の壁、應接室なぞの一部分に全鮮の各學校生徒の成績品を陳列してある、書方、綴り方、手藝などが美しく飾られて、時々之れを差換へる、娛樂物としては玉突臺が二臺、ピンポン、テニス、大弓、碁、將棋などがある、外に近頃謠が大分盛んになつて來た、各部に就いて見ると撞球では有賀第一部長、松京城專修學校教諭の各

=百五十點が牛耳=

を執つてゐるが滅多に顏を見せた事はないさうだ、撞球は可なり盛んで玉臺が出來る前まではピンポンが盛んだつたが今日ではピンポンなんぞ

=全く顧る人もな=

い、撞球の競技會は年に二三回行る事になつてゐるが來る十六日の日曜に春の會を行る計畫がある、現在では玉場の常連が四十名許ある、大弓では小永井中學教諭、古谷西大門小學校訓導などが群を拔いて居り碁の方では矢張り有賀部長、內田高等普通教諭などが策叢こその居所を異にしてゐる、此の外目下擢球の壘を摩せんとしてゐる謠は寶生、觀世を通じて五組ばかりの稽古組があるが寶生の方は高等普通の岩橋氏が毎週火、水、金、木の四回觀世の方は旭町に

=教授所を開いて=

ゐる柴田松坡氏が金曜日に各出張して敎へてゐる、倶樂部員は謹直を看板にする敎育家揃ひ丈に樂んで淫せず、毎夜、毎夜倶樂部に入り浸つてゐる人は先づ無く、遊ぶにい、此の頃の宵の間など、集會室、玉場、娛樂室、談話室、讀書室などに樂しさうな人聲の洩れて來ない事はないが又かうして毎晩

=出入する顏觸れ=

が夜毎に替つてゐるのは此處の倶樂部の一特色でもあらうか、學校職員又はその關係者の送別會、懇親會などが折々開かれるが、女禁制、鳴物禁制、更に酒を飲んで談論風發といふ樣な事も出來ないやうになつてゐるのは良い習慣であると言はねばならぬ

▲水野及タングステン
▼京畿道高陽郡

朝鮮總督府
一古金物及古雜品類 右賣下ノ詳細ハ四月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買入札
第一號 綿糸九百四拾貫
第二號 精皮エキス十二貫外三點
第三號 瓦斯糸百參拾五貫外壹點
右各號ニ購買ス詳細ハ大正五年四月十二日以後ノ總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

京日內案

▲普通（一回金三十錢）
古本高價買持に出張致します 京城本町二丁目二五二 セツヤ書店 85
ピストル〇モーゼル十連發最新式各種彈丸付賣却す御望の方は龍山電話一三五番へ 86
運轉手入用 希望者は來談あれ 京城太平通二丁目 小川商工事務所 電話六四八番 93
得意廻り店員入用 十五歲迄本人來談あれ 京城 遠藤味噌小賣部 94
店員入用 十七歲以上二十二三歲迄 市內に保證人を要す本人來店あれ 龍山鐵道構內 田口商店 91
▲店員入用 二十歲未滿の人一名入用本人來談 京城旭町 川西食料店 92
◎貸間を求む 官吏夫婦にて臺所付き三間許り清潔なる貸間を求む（姓名在社）80
◎明治町フランス敎會正門前 ▲ほねつぎ（うちみくじき治療）◎電話二五九五番 荒川仁壽堂 33
◎古本 品撫底に付無比高價買入 御一報次第即刻參上 電話二七八一番へ ▲京城本町四 書肆 群書堂 40
店舖讓受 營業の種類を問はず至急讓受たし極秘密に御相談申候 明治町口入業萬年社 電話一八四四 44
▲番外 見習看護婦募集 年齡十八歲以上及看護婦 上市內確實保證人希望者履歷書携帶本人來談を乞ふ 京城壽町 嶋崎病院 99
賣地及一時貸地 南大門通漢湖農工銀行隣三十坪餘 京城黃金町二丁目電話一〇一五番 喜多金光堂 98
▲**藥局生入用** 女子經驗の有無を問はず十七歲以上 明治町二丁目 電話一五〇四 川崎朋子 97
朝鮮諸官廳受驗講義錄 全部七冊金一圓九十錢送料十四錢 京城旭町二ノ二振替京城一一九二 朝鮮雜誌社內朝鮮文學會 96
尋人 **中原義一** 年齡十二歲 右之者昨年末より行衞不明に付居所御存知の方は左記へ御一報を乞ふ 京城本町四、三七 日奈古館 95
▼**讓店アリ**▲ 各種商業に好適の店舖陳列戶棚及び造作付裏庭に完全なる倉庫專用水道設備あり黃金町二遍要場所 姓名在社 71
ほねつぎ（うちみくじき）等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 **柔術道場** 15
皮膚病 花柳病 專門 京城永樂町一商品陳列館坂の上 **須古醫院** 電話二一〇三番 25
小兒科 內科 大和町一丁目（日の出橋下ル）**爲春堂醫院** 院主 古城俶吉（電話九二八番）26

▲**子供入用** 年齡十二三歲以上十五六歲迄小學卒業程度の者市內に確實なる保證人 京城本町一丁目 **ますや呉服店** 69
▲**毛皮ナメシ專門** ▲親切迅速 京城黃金町三丁目 電取次二一〇〇 **和泉商行** 73
朝鮮屈指の一大市場の中央目貫の場所十年賣込付意付日鮮諸貨賣上多大純益一ヶ月二百圓以上大急店舖居抜の儘家屋宅地共に讓渡したし（姓名在社）78
中古浪板トタン 二百枚 獨逸製アスファルトフエルト一卷 右割安賣却す〇市內長谷川町五一 但し（銀行集會所向橫丁入）河野 201
看護婦生募集 願書提出期日 大正五年四月二十日 試驗期日 大正五年四月廿八九日 詳細ハ當院ニ照會アレ 朝鮮總督府指定 **龍山鐵道病院** 看護婦養成所
簿記男學生募集 大正の今日簿記の必要を學ばざるは非成功の極なり本校は最も速成簿記の大なる活動者たるを得る方法に短期卒業就職紹介す詳細は要規則男女共に募集す 私立認可 **下關高等簿記校**
齒科開業廣告 私儀 永らく仁川病院齒科部に勤務致居候處今般左記の所に開業し四月十四日より專ら齒科診療に從事す 仁川山手町穴門通 東京齒科醫學士 **飯塚喜四郎** 電話三五〇番

間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前八時 京城南大門通一丁目二十一番地 **廣橋京春自働車組** 主務 金正淵 電話二一九番
松材販賣廣告 一李王職花山森林拂下松材 土工橋梁建築用丸太及挽材各種 今般左記出張所相設安價販賣可致候多少に不拘御用命御下命被下度願上候 京城岡崎町（電話二八〇〇番）**丸三幸洋行**
餅店出張所 主任 松井吉太郎 龍山漢江通（電話二二〇番）
特約販賣店 ⑥**那須材木店**
松生丸太（末三寸以上）杭木用材（口六寸以下）天安驛平澤驛多數出材仕候 御引立御用命御仰付被下度願上候
餅店驛前 **松井吉太郎**

千生瓢 (180)

須藤南翠作　筒井年峰畫

犬山城 (八)

籠の城が敵の手に歸した翌日、即ち天正十二年三月十日、徳川參議家康は毅然として濱松城を出馬した。留守は大久保七郎右衛門忠世に、五箇國の精兵四萬五千餘騎を帥して預ける。先陣は、酒井左衛門尉忠次、井伊萬千代直政、大須賀五郎左衛門尉康高、松平紀伊守家忠、奥平九八郎信昌、松平又七郎家信、内藤三左衛門尉信成、三宅總右衛門康貞、安藤又左衛門重信、同苗彦四郎直次、本田作左衛門重次、大久保新十郎忠隣、水野總兵衛忠重、同苗藤十郎勝成、岡部彌次郎長盛、高木善次郎清秀、渡邊半藏守綱、石川長門守康通、同苗伯耆守數正等の面々、總勢一萬五千餘騎と註された。此日は三河國吉田に陣を取り、翌十一日岡崎の城に入り、十二日軍を熱田に進め、其の十三日を以て尾州清洲の城に著陣した。

されば、北畠中將信雄も、長島を出で、五千有餘の勢を率して、清洲城に移り、既に北畠、徳川兩將相會して、今後の軍議を凝らしたのであつたが、信雄は固より兵法軍術の蘊蓄あるべき筈なければ、唯何事も家康に倚つて、一切の軍配を定むることゝなつたのである。

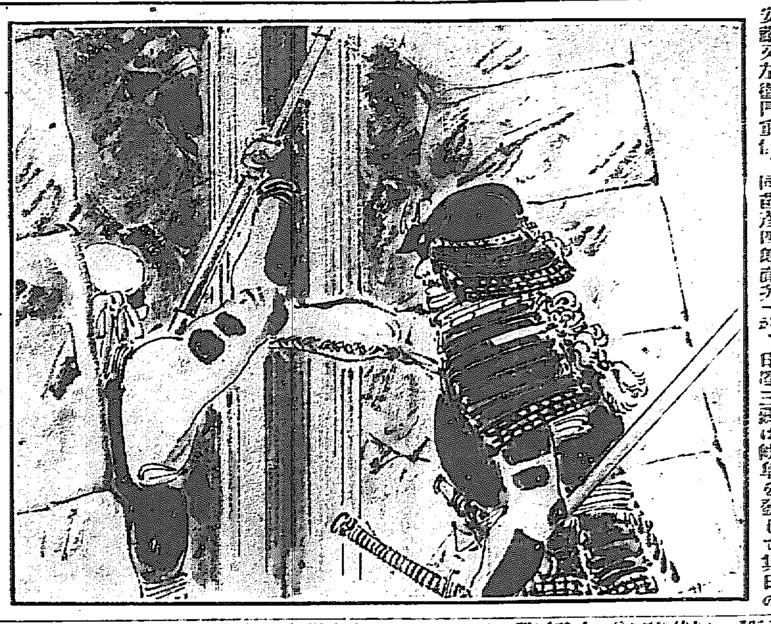
徳川殿清洲著陣の報は、時を移さず大阪城に達して、池田入道勝入齋の耳に入つたが、物に熟れてる、古武士とて、毫しも騒がず、早速片桐半左衛門、伊木清兵衛を召し寄せて紀伊守之助、古新輔政と、五人座を圍んで軍議を凝した後、俄かに人馬を繰り出して、其日の内に岐阜に入り、日置三藏に旨を含めて、密かに犬山の方へ遣はしたのであつた。

中川勘右衛門尉高之不慮の死を遂げて、犬山城は首將を失つて居る。去りながら高之が叔父の入道に、清藏主と稱ばるゝ者、能く士卒を下知して、固を嚴にしてゐたのであつたが、日置三藏は岐阜を發して其日のうちに犬山近く潜み來たり、舊主たる池田氏の恩を記する郷民共を尋ね語ひ巧みに誘うたので、今も忘れぬ舊領主の爲とあらば、隨分働き申さうと誓ひを立て、各自人質を差出して堅く内應を約したのであつた。三藏は猶彼等に旨を含むるやう『羽柴殿御旗を出さるゝに於ては、其の人員も十萬二十萬の大軍となり清洲城を踏み破ること、唯だ一時の間ちや。併し其までもなく、敵より聞者を出して、我が勢の多寡を問ふは必定。其節は各自等と申し合せて多寡は知られねど、大凡四五萬騎はおざらうと答へませい。是れ敵を脅かして、容易う勝利を得る謀計ちや。宜くせよや』と繰り返して申し含ませた。

三藏は其まゝ岐阜城に取つて返して、勝入齋の御前に出で、『仰せに隨ひ犬山の郷民どもを語らひ申しておざります。乃ち十四日亥の刻を計つて、木曾川の岸まで御出馬下さらうならば、舟十餘艘を以て御迎へ申し上げ、水門口より城内に御案内申さうとの誓約、違變致さぬ爲とあつて、人質ども差出しておざりまする』と、委細復命に及んだのであつた。

勝入齋は三藏が功を賞して、犬山城は已に掌の中に握つたやうに悦んだ、三藏に身の暇を取らせると、早速紀伊守之助に策を授け、片桐半左衛門、渡邊禰貞、河合又左衛門等を附して、兵糧一日分を用意し、十四日の亥の刻までに、隨分潜びやかに木曾河原まで進出する事を命じをさ〳〵用意を運んでゐた。

犬山城を敵に渡して置く時は、美濃平野の咽喉を扼さるゝと同じく、羽柴方に取つては甚だ妙でない。是れを取ると取らぬとは、戰局の上に偉大の關係のある事とて、紀伊守は充分に意を用ゐて、示された如く木曾川の岸まで進んだ。見ると幸ひに十餘艘の舟が此方の岸に繋いである。紀伊守はそれに取り乘つて、城の水門際に渡つた。水門は高々と開いてある。思ひのまゝに城内に侵入して、こゝで咄と鬨の聲を揚げさせた。



日報俳壇　雉子郎選

山燒
谷移りする火蔭を見る戸哉　橙黄子
山燒ゝ土民の酒も酢に足る　同
爆なと山の夜色に火龍かな　同
客愁や山の火仰ぐ夜の閨　同
夜の帷我に落ち來て野火明し　同
窓の子や山燒を見て待つ夕餉　同
要塞地帯山燒くぞ夜の眺　孤山

畑打
實り田ゝ人面白さうに日毎打つ　湖外星
沖の舟見て耕すや濱畑　露風
疲れ來て飯のうまさや畑打　右門

接木
藥解かれ接木向ふ怯れかな　部津無
境内に住めば香好き接木かな　沛子
接木終て藥掛け去る庭暗し　露風
接木盆酒の氣失せ歎し去る　邱聲
土地貧つて淋しき桑の接木哉　麗水子
女客は我に用なき木を接ぎぬ　盧中子

雛
母の懷に在る女王たち雛の主　青眼子
父の顏知らぬ子雛に遊び居り　容堂
雛の灯消し惜み去る子哉　浦南

歸雁
吹き〳〵て雲見ゆ月や歸る雁　浦南
行雁や油をおしむ宿の婆　青奴
歸雁なくや治らぬ病温泉に悲し　右門
行雁に身の弱さ知る旅の宿　孤山

囀
囀やいつも米踏むのみの足　東村
囀や引潮時は渡舟さとる　同
囀や樹より樹つたひ陽失せし　同
囀や胡弓侍みに旅渡り　同
囀や舟曳き去りの後の波　同
囀や宿舍ながらに買ふ庭樹　橙黄子
囀や刀自の料理に子女の會　同
囀や或日は妾子來る山居　同
囀や景得て宮居鎮まりぬ　同
囀りに家の靜かや父居る日　山民
土堤缺けて傾ける樹や囀れる　同
墓移りて窓の淋しや囀れる　北星

■春の句を募る、各題別紙、投稿所(變更)京城府瑞麟洞三十四浮城舍

□オンドル會詠草　雪(二)

吹雪暮れて驛のシグナル輝けるを　よし子
ささ降る雪となり傘をよろこぶ子　同
留守居淋しさ雪は門に積みたり　同
用足し歸る門邊に雪を拂ひたり　同
古手紙懷しむ雪の日曜日　傑王鬼
紙に沁むペン摑む鈍る雪空を　同
暖爐燃ゆるチラ〳〵と雪暮るゝ　同
國境の砲壘や此の夜雪深き　兜國
夕暮るゝ山路淋しき雪となり　同
歸るさの湖水雪に晴れてあり　同
寒う雪の降り歸る郷近き驛　城山
妻は病後の深き眠に雪掃きぬ　同
獨り酌む妻に雪を戻り來し　淨櫻
樹影淡く午砲きゝぬ雪晴風　秀應
俳優乘る船著きぬ雪解風の濱　同

讀者の領分

●脫兎患者の新福音 [illegible]

●春雨號の値上げ [illegible]

▲繼母の虐待に堪へ兼て自殺を企てた青年があると聞いて思はず同情の涙にむせびました私もまた三歳の其の昔母に死別れて以後繼母の荒き手で十餘年間を育てられたのです、小學校卒業と共に意を決して少さき胸に云ひ難い不安を抱きつゝ渡鮮致しました、遠く懷しき故郷を去つて煙塵の都に糊口の爲に汗にまみれて活動を續けることこゝに五年、親を失へる憐れな子は常に波瀾多き過去を追懷して獨り淋しく涙ぐむのであります、世には私と同じ運命に泣く人も多きをでせう(一青年)▲愈々春らしい陽氣となりました陽氣の發する所金石も亦透すです、諸君、此際精神一到何事かならざらん須らく愼重事に處し業餘向上的趣味の涵養はあらゆる諸書に耽つてこそ眞に春宵一刻價千金ではありませんか(松葉堂の小僧)▲黃州一探險者殿へ傳告の件、拜啓京城日報(四月十一日朝刊)三、〇八四號讀者の領分欄に長三間巾一尺の鼻黑色の泥土の見分可致に付き詳に氏名御一報あれよ小生は多年同品に經驗御坐候間直に御一報あれよ見本あれば直に急送被下度双方の利益相計り申度時節柄迅速を要し申候(森木生)▲春が來て時候も好くなつた京城の興業界も一と奮發して何にか面白いものを見せて吳れまいか(好劇家)▲最うソロ〳〵市中に撒水を始めては何うです此頃のホコリと來ては目も口も鼻もやりきれぬ(重夫)

商況

大阪株式特電

北濱新株 … 六四、二〇
鐘紡新株 … 一六〇、〇〇
同上新株 … 一三四、〇〇
東洋紡 …
大阪 …

五月限 一二八、五〇 一二八、四〇
六月限 一二八、五〇 一二八、五〇
七月限 一二九、〇〇 一二九、〇〇
八月限 一二九、七〇 一二九、七〇
九月限 一三〇、三〇 一三〇、四〇

下關期米特電

十一日前場 六月限 一四、一六 高値 一四、二二
寄付 … 一四、一五 止め 一四、二〇
安値 …

仁川米豆取引所

滿蒙處分論　定價金一圓　京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

時局の爲め
金鶴香水
ツル香水　各種
本日より一割値上仕候
鶴香水輸入元
大崎組商會

旦那樣の御滿足は奧樣のお悦び
旦那樣の御滿足は※澤の鶴によりて得らる
品質の一定不變……混合物の絶無
香味の芳烈無比……價格の低廉
此四ッ揃つたのが家庭必備の良酒※澤の鶴に候
日光 喜 米壽
特約店 佐藤牧商店
京城本町一丁目 電話二九

りん病 ばい毒 專門藥房
製法に間斷無く改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とても効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は三月四日及九日の京城日報御覽、近頃各地に偽ドラッグ續出せり御注意を乞ふ ばい毒藥一週間分普通貳圓特製參圓 りん病藥壹週間分普通貳圓特製參圓 照會は返信券を要す
本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會
京城南大門外停車場通り ドラッグ商會朝鮮本部 電話二五六七番 振替京城四六七番

消化と毒けし 仁丹
春の外出は仁丹
金言 華美は却つて品格を害ふ……(西諺)
吾が社は天下名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病徽毒藥の長所を取つて藥味及

特價六拾四錢(二割引)期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
新案特許三六二九八號
タイヨー萬年毛筆(定價八十錢)
本品は從來有り觸れたるものと異り頗る苦心慘憺の結果實に精巧無比の製作品なれば如何なる文字も如何なる紙質と雖も自由に書き換るは勿論構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取れ自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁を入れば端書三百枚迄は書き得れば携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ
▲穗先は替穗があります　壹個 金八錢
▲又携帶に便するためスクリップもあります　壹個 金五錢
發賣元 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

新刊書御案內
●新撰醫科證據辯 … 六〇
●耶蘇傳 … 一、五〇
●神人論 … 一、二〇
●實驗一日一話 … 一、二〇
●死後は如何 … 一、二〇
●通俗禪道講話 … 一、〇〇
●心の曙 … 九五
●株式期米相場必勝の新研究 … 二、〇〇
●滿洲概要 … 一、〇〇
●大正政局史論 … 二、〇〇
●農村自治要義 … 一、三〇
●洋酒飲料調合法の秘 … 一、〇〇
●化粧と美容 … 一、二〇
●安易生活と食物の活用 … 六五
●中山大納言 … 九〇
●稲正成 … 一、二〇
●戀愛の人々よし子 … 二八
●酒と話と女 … 五五
●女ロマンスつなぎ … 三八
●解剖刀下女の自然 … 三五
●うきよ(一二)各 … 一、三〇
●花柳病と其豫防法 … 一、〇〇
京城本町 大阪屋號書店 電話一〇八六 振替京城一一七三番

わきが 治療 好期
全快 實驗 體臭威謝狀澤山來著
新刊療法解說全快實驗集無代進呈す

自動車發著時間表
金泉 醴泉間 …
金泉自動車支部 織居自動車支部

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
三河丸 四月廿二日 正午出帆
相模丸 五月 五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
仁川港本町一丁目 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
安東丸 四月十五日 午後五時
須磨丸 四月十七日 …
天智丸 四月二十日 …
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 四月廿三日 後二時出
信濃川丸 五月十一日 後二時出
鎮南浦大連行
信濃川丸 四月十八日 後二時出
信濃川丸 五月六日 後二時出
木浦大阪直航
宮島丸 四月十七日 後…時出
大連直行
湖州丸 四月十八日 正午出帆
福州丸 四月廿七日 正午出帆
群山、釜山、橫濱行
潮州丸 四月廿二日 午後二時出帆
福州丸 五月二日 午後二時出帆
…
御注意 … 京城切符發賣所 …

朝鮮郵船
…
京城南大門通 松原運送店

共同汽船仁川出帆
…
河村運送店

汽船釜山出帆廣告
…
大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸 四月十二日後四時出帆
大有丸 四月廿四日後四時出帆
神代丸 四月十九日後四時出帆
…
仁川港 杉田回漕部